

リファレンス

Novell. ZENworks® 10 Asset Management SP2

10.2

2009年5月27日

www.novell.com



保証と著作権

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、この文書の内容または使用について、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。また文書の商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本書の内容を改訂または変更する権利を常に留保します。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、このような改訂または変更を個人または事業体に通知する義務を負いません。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、すべてのノベル製ソフトウェアについて、いかなる保証、表明または約束も行っておりません。またノベル製ソフトウェアの商品性、および特定の目的への適合性については、明示と黙示を問わず一切保証しないものとします。米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、ノベル製ソフトウェアの内容を変更する権利を常に留保します。

本契約の締結に基づいて提供されるすべての製品または技術情報には、米国の輸出管理規定およびその他の国の貿易関連法規が適用されます。お客様は、すべての輸出規制を遵守して、製品の輸出、再輸出、または輸入に必要なすべての許可または等級を取得するものとします。お客様は、現在の米国の輸出除外リストに掲載されている企業、および米国の輸出管理規定で指定された輸出禁止国またはテロリスト国に本製品を輸出または再輸出しないものとします。お客様は、取引対象製品を、禁止されている核兵器、ミサイル、または生物化学兵器を最終目的として使用しないものとします。ノベル製ソフトウェアの輸出については、[Novell International Trade Services \(http://www.novell.com/info/exports/\)](http://www.novell.com/info/exports/) の Web ページをご参照ください。弊社は、お客様が必要な輸出承認を取得しなかったことに対し如何なる責任も負わないものとします。

Copyright © 2007-2009 Novell, Inc. All rights reserved. 本ドキュメントの一部または全体を無断で複写・転載することは、その形態を問わず禁じます。

米国 Novell, Inc. およびノベル株式会社は、本文書に記載されている製品に実装されている技術に関する知的所有権を保有します。これらの知的所有権は、[Novell Legal Patents \(http://www.novell.com/company/legal/patents/\)](http://www.novell.com/company/legal/patents/) の Web ページに記載されている 1 つ以上の米国特許、および米国ならびにその他の国における 1 つ以上の特許または出願中の特許を含む場合があります。

Novell, Inc.
404 Wyman Street, Suite 500
Waltham, MA 02451
U.S.A.
www.novell.com

オンラインマニュアル: 本製品とその他の Novell 製品の最新のオンラインマニュアルにアクセスするには、[Novell のマニュアルの Web ページ \(http://www.novell.com/documentation\)](http://www.novell.com/documentation) を参照してください。

Novell の商標

Novell の商標一覧については、「[商標とサービスの一覧 \(http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html\)](http://www.novell.com/company/legal/trademarks/tmlist.html)」を参照してください。

サードパーティ資料

サードパーティの商標は、それぞれの所有者に帰属します。

目次

このガイドについて	9
1 概要	11
1.1 ライセンスコンプライアンスの監視	11
1.2 ソフトウェア使用状況のトラッキング	11
1.3 契約の管理	12
1.4 製品ライセンスの管理	12
2 購入記録の作成	13
2.1 購入記録のインポート	13
2.1.1 ZENworks Asset Management インポートファイルの形式	14
2.2 手動での購入記録の作成	22
2.3 購入概要レコードの作成	24
3 カタログ製品の操作	27
3.1 購入記録からのカタログ製品の作成	27
3.2 手動でのカタログ製品の作成	27
3.3 カタログ製品の包含と除外	28
3.4 ライセンス製品へのカタログ製品の追加	29
4 検出された製品の操作	31
4.1 検出された製品の詳細の表示	31
4.2 検出された製品の包含と除外	34
4.3 ライセンス製品への検出された製品の関連付け	34
4.4 ソフトウェアコレクションへの検出された製品の追加	35
4.5 標準カテゴリの設定	36
4.6 コンプライアンスステータスの更新	37
4.6.1 更新のトリガ	37
4.6.2 更新の詳細を表示	38
5 ライセンス製品の作成	39
5.1 ライセンス製品の詳細の表示	39
5.1.1 全般	40
5.1.2 ライセンスエンタイトルメント	41
5.1.3 コンプライアンスステータス	44
5.1.4 ライセンス割り当て	44
5.2 購入記録とのライセンス製品の調整	45
5.3 手動でのライセンス製品の作成	46
5.3.1 ライセンスエンタイトルメントの作成	47
5.4 ライセンスエンタイトルメントの定義	48
5.5 コンプライアンスの更新ステータス	52
5.5.1 更新のトリガ	53
5.5.2 更新の詳細を表示	53

6	ライセンス管理レポートの使用	55
6.1	ライセンス管理の標準レポートの使用	55
6.1.1	利用可能な標準レポート	55
6.1.2	標準レポートの実行	56
6.2	ライセンス管理のカスタムレポートの使用	60
6.2.1	カスタムレポートのサンプル	60
6.2.2	カスタムレポートの実行	60
6.2.3	カスタムレポートの作成	61
6.2.4	カスタムレポートのスケジュールと通知の送信	63
6.2.5	通知を送信する電子メールアドレスの設定	65
6.2.6	カスタムレポートの編集	66
6.2.7	カスタムレポートの移動	67
6.2.8	カスタムレポートまたはフォルダの削除	68
6.2.9	日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示	69
6.2.10	新しいレポート定義のインポート	70
6.3	ZENworks Asset Management のレポート権限の設定	70
6.4	レポートからのソフトウェア使用状況データの除外	71
7	レポートングサーバのレポートの使用	73
7.1	定義済みレポート	73
7.1.1	ライセンス割り当てレポート	73
7.1.2	購入レポート	74
7.1.3	ソフトウェアコンプライアンスレポート	74
7.1.4	スイートレポート	75
7.2	事前定義レポートの表示	75
8	所有権の証明の設定	77
8.1	契約の追加	77
8.1.1	新規契約の作成	77
8.1.2	既存の契約のコピー	79
8.2	契約の定義	79
8.2.1	[全般] タブ	80
8.2.2	[ベンダ] タブ	80
8.2.3	[財務] タブ	81
8.2.4	[SLA] タブ	81
8.2.5	[リース] タブ	82
8.2.6	[ドキュメント] タブ	82
8.2.7	[更新] タブ	84
8.2.8	[関係] タブ	85
8.3	日付の通知の使用	86
8.3.1	日付の通知の設定	86
8.3.2	日付通知レコード用フォルダの作成	87
8.3.3	日付の通知レコードの移動	88
8.3.4	日付の通知レコードの削除	88
8.4	契約管理の標準レポートの使用	88
8.4.1	利用可能な標準レポート	89
8.4.2	レポートの実行と表示	89
8.5	契約管理のカスタムレポートの使用	90
8.5.1	カスタムレポートのサンプル	91
8.5.2	カスタムレポートの実行	91
8.5.3	カスタムレポートの作成	92
8.5.4	カスタムレポートのスケジュールと通知の送信	93
8.5.5	通知を送信する電子メールアドレスの設定	94
8.5.6	カスタムレポートの編集	95

8.5.7	カスタムレポートの移動	96
8.5.8	カスタムレポートまたはフォルダの削除	97
8.5.9	日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示	97
8.5.10	新しいレポート定義のインポート	98
8.6	レポート権限の設定	98
8.7	ドキュメントの追加と関連付け	99
8.7.1	ドキュメントの追加	99
8.7.2	ドキュメントの関連付け	100
9	ソフトウェアコレクションの使用	101
9.1	ソフトウェアコレクションの作成	101
9.2	ソフトウェアコレクションの削除	102
9.3	ソフトウェアコレクションの移動	102
10	ソフトウェア使用状況の監視	103
10.1	ソフトウェア使用状況標準レポートの使用	103
10.1.1	利用可能な標準レポート	103
10.1.2	標準レポートの実行	105
10.2	ソフトウェア使用状況カスタムレポートの使用	108
10.2.1	利用可能なカスタムレポート	108
10.2.2	カスタムレポートの実行	108
10.2.3	カスタムレポートの作成	109
10.2.4	カスタムレポートのスケジュールと通知の送信	110
10.2.5	通知を送信する電子メールアドレスの設定	111
10.2.6	カスタムレポートの編集	112
10.2.7	カスタムレポートの移動	113
10.2.8	カスタムレポートまたはフォルダの削除	114
10.2.9	日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示	114
10.2.10	新しいレポート定義のインポート	114
10.3	レポート権限の設定	115
10.4	Web アプリケーションの使用状況の監視	116
10.4.1	Web アプリケーションの定義	116
10.4.2	Web アプリケーション定義の編集	117
11	管理者定義フィールドの使用	119
11.1	管理者定義フィールドについて	119
11.2	管理者定義フィールドの作成	119
11.3	管理者定義フィールドの編集	120

このガイドについて

この『Novell ZENworks 10 Asset Management リファレンス』では、ソフトウェアコンプライアンスを維持するために役立つ情報について説明します。このガイドの情報は、次のように構成されます。

- ◆ 11 ページの第 1 章「概要」
- ◆ 13 ページの第 2 章「購入記録の作成」
- ◆ 27 ページの第 3 章「カタログ製品の操作」
- ◆ 31 ページの第 4 章「検出された製品の操作」
- ◆ 39 ページの第 5 章「ライセンス製品の作成」
- ◆ 55 ページの第 6 章「ライセンス管理レポートの使用」
- ◆ 73 ページの第 7 章「レポートサーバーのレポートの使用」
- ◆ 77 ページの第 8 章「所有権の証明の設定」
- ◆ 101 ページの第 9 章「ソフトウェアコレクションの使用」
- ◆ 103 ページの第 10 章「ソフトウェア使用状況の監視」

対象読者

このガイドは、Novell® ZENworks® の管理者を対象としています。

フィードバック

本マニュアルおよびこの製品に含まれているその他のマニュアルについて、皆様のご意見やご要望をお寄せください。オンラインマニュアルの各ページの下部にあるユーザコメント機能を使用するか、または [Novell Documentation Feedback サイト \(http://www.novell.com/documentation/feedback.html\)](http://www.novell.com/documentation/feedback.html) にアクセスして、ご意見をお寄せください。

追加のマニュアル

ZENworks 10 Asset Management には、製品の概要とその実装方法を説明したその他のマニュアル (PDF 形式および HTML 形式) が用意されています。『[ZENworks 10 Asset Management のマニュアル \(http://www.novell.com/documentation/zam10/index.html\)](http://www.novell.com/documentation/zam10/index.html)』を参照してください。

マニュアルの表記規則

Novell のマニュアルでは、「より大きい」記号 (>) を使用して手順内の操作と相互参照パス内の項目の順序を示します。

商標記号 (®、™ など) は、Novell の商標を示します。アスタリスク (*) は、サードパーティの商標を示します。

パス名の表記に円記号 (\\) を使用するプラットフォームとスラッシュ (/) を使用するプラットフォームがありますが、このマニュアルでは円記号を使用します。Linux* など、スラッシュを使用するプラットフォームの場合は、必要に応じて円記号をスラッシュに置き換えてください。

概要

Novell® ZENworks® 10 Asset Management を使用すると、ソフトウェアライセンスコンプライアンスの監視、ソフトウェア使用状況のトラッキング、契約の管理、およびライセンスの管理を行うことができます。

詳細情報については、次のセクションを参照してください。

- 11 ページのセクション 1.1 「ライセンスコンプライアンスの監視」
- 11 ページのセクション 1.2 「ソフトウェア使用状況のトラッキング」
- 12 ページのセクション 1.3 「契約の管理」
- 12 ページのセクション 1.4 「製品ライセンスの管理」

1.1 ライセンスコンプライアンスの監視

ZENworks Asset Management は、購入ライセンス数と使用ライセンス数を自動的に比較するので、管理ゾーンにおけるライセンスコンプライアンスを明確に把握するのに役立ちます。Asset Management は次のように動作します。

- 1 購入記録、カタログレコード、または購入概要レコードを使用して、ソフトウェアライセンス数を入力します。
このデータは、インポートすることも、手動で入力することもできます。詳細については、13 ページの第 2 章「購入記録の作成」および 27 ページの第 3 章「カタログ製品の操作」を参照してください。
- 2 インベントリスキャンを実行して、管理ゾーン内にインストールされている製品の数を検出します。
この情報を購入済みライセンス数と比較して、ライセンスコンプライアンスを判断します。
詳細については、『ZENworks 10 アセットインベントリリファレンス』を参照してください。
- 3 管理ゾーン内で検出されたソフトウェア製品に対し、ライセンス製品とエンタイトルメントを作成します。
詳細については、39 ページの第 5 章「ライセンス製品の作成」を参照してください。
- 4 所有権の証明データを追加します。
詳細については、77 ページの第 8 章「所有権の証明の設定」を参照してください。

上記の手順が完了した後、購入したライセンスの数とソフトウェアインストールの数とを比較し、コンプライアンスエンジンが製品のライセンスのコンプライアンス状態を計算します。その後、さまざまなレポートを実行してデータを表示できます。

1.2 ソフトウェア使用状況のトラッキング

ZENworks Asset Management を使用すると、既存のインベントリに含まれるソフトウェアアプリケーションの使用状況 (実行時間、アクティブ時間、ログインユーザ、マシン、および使用されたアプリケーション) をトラッキングできます。これには、ターミナルサー

バおよび Citrix* 経由で実行されるソフトウェアのトラッキングとレポート、およびブラウザ経由で実行される Web アプリケーションが対象となります。このデータをより役立てるため、事前定義済みのソフトウェア使用状況レポートを実行するだけでなく、カスタムレポートを作成、保存、および実行することもできます。この情報は、ライセンスコンプライアンスに基づいて購入判断を下す際に便利です。詳細については、[103 ページの第 10 章「ソフトウェア使用状況の監視」](#)を参照してください。

1.3 契約の管理

ZENworks Asset Management を使用すると、重要な日付とベンダ、財務、SLA、リース、および更新情報などを含む IT 契約に関連する詳細を定義し、トラッキングできます。また、これらの情報を関連ドキュメントに添付し、アセット、ライセンス、および人口統計データを契約に関連付け、指定した日付に自動的に電子メールで通知することができます。さらに、カスタムレポートの作成、保存、および実行に加え、契約管理全般について事前定義された広範なレポートを実行することもできます。詳細については、[77 ページの第 8 章「所有権の証明の設定」](#)を参照してください。

1.4 製品ライセンスの管理

ZENworks Asset Management を使用すると、ソフトウェア購入レコードを作成し、ライセンスエンタイトルメントを定義し、サポートドキュメントを添付し、検出されたソフトウェア製品を購入済み製品と照合し、継続的にコンプライアンス状況をトラッキングできます。また、ZENworks Asset Management では、カスタムレポートを作成、保存、および実行できるだけでなく、ライセンス管理全般についても事前定義された広範なレポートを実行することができます。詳細については、[39 ページの第 5 章「ライセンス製品の作成」](#)を参照してください。

購入記録の作成

購入記録と購入概要レコードは、コンプライアンスの計算に使用する製品ライセンスの数を提供します。購入ライセンス数を使用ライセンス数と比較して、コンプライアンスが判断されます。

- ◆ 13 ページのセクション 2.1 「購入記録のインポート」
- ◆ 22 ページのセクション 2.2 「手動での購入記録の作成」
- ◆ 24 ページのセクション 2.3 「購入概要レコードの作成」

2.1 購入記録のインポート

購入記録を作成する最も簡単な方法は、購入記録をインポートすることです。ZENworks® Asset Management は、複数の購入記録形式をサポートしています。サポートされる形式については、14 ページのセクション 2.1.1 「ZENworks Asset Management インポートファイルの形式」を参照してください。

サポートされる購入記録ファイルからデータをインポートできない場合は、購入記録を手動で作成する必要があります。詳細については、22 ページのセクション 2.2 「手動での購入記録の作成」を参照してください。

購入記録をインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[購入記録] をクリックします。

ライセンス管理 > 購入記録

PO番号	注文日	販売者
10077	8/9/07	Software Spectrum
101	8/4/07	
10100	8/9/07	Software Spectrum
10101	8/9/07	Software Spectrum
10102	8/9/07	Software Spectrum
10127	8/9/07	Software Spectrum
10135	8/9/07	Software Spectrum
10159	8/9/07	Software Spectrum
10191	8/9/07	Software Spectrum
10216	8/9/07	Software Spectrum

- 3 [アクション] > [インポートの開始] の順にクリックして、[購入記録のインポート] ダイアログボックスを表示します。



4 [ファイル名] フィールドで、[ブラウズ] をクリックし、インポートファイルを見つけて選択します。

5 [OK] をクリックして、インポートを開始します。

インポート中、購入記録リストの上に進行状況が表示されます。[インポートステータス] タブをクリックして、インポートの進行状況と以前のインポートのレコードを参照することもできます。

インポートが完了すると、新しい購入記録がリストに追加されます。

購入記録をインポートすると、ZENworks Asset Management により、コンプライアンス計算に使用されるライセンス情報があるカタログ製品が作成されます。次の手順では、ライセンス製品を作成し、新しく作成されたカタログ製品と調整します。インポートしたレコードからライセンス製品を作成する方法の詳細については、39 ページの第 5 章「ライセンス製品の作成」を参照してください。

2.1.1 ZENworks Asset Management インポートファイルの形式

標準形式は、ZENworks Asset Management 標準インポートファイルです (詳細については、15 ページの「ZENworks Asset Management 標準インポートファイルの形式」を参照してください)。ZENworks Asset Management では、次のリセラーコネクタもサポートされています。

- ◆  CompuCom * ソフトウェアコンプライアンスレポート
- ◆  Softchoice 製品履歴レポート (詳細については、17 ページの「Softchoice インポートファイル形式」を参照してください)
- ◆  ZENworks Asset Management リセラーコネクタレポート
- ◆  SHI ライセンスコンプライアンスレポート
- ◆  KMDアセットレポート - SAP* からアセット管理関連データを自動的にインポート

ZENworks Asset Management 標準インポートファイルの形式

ZENworks Asset Management 標準インポートファイルは、ライン項目ごとに行の、タブ区切り ASCII テキストファイルです。ファイルの最初の行にはカラムヘッダが含まれており、15 ページの 図表 2-1 で定義されているフィールド名を一致する必要があります。

インポートファイルの各行には、購入記録の明細が含まれています。インポートファイルの各行には 2 つのパートがあります。

- ◆ **購入記録ヘッダフィールド**：これらのフィールドには、特定の請求書、発注書番号、またはその他の購入取引に固有の情報が含まれます。これらは 15 ページの 図表 2-1 のカラム 1-13 に表示されます。購入記録の各明細ごとに、すべての購入記録情報を繰り返す必要があります。
- ◆ **購入記録製品フィールド**：これらのフィールドには購入記録の特定のライン項目に関する情報が含まれます。これらは 15 ページの 図表 2-1 のカラム 14-31 に表示されます。1 つの購入記録に複数の請求書を含めることができます。1 つの請求書または購入記録には複数のライン項目を含めることができ、各ライン項目の購入記録のヘッダフィールド (カラム 1-13) が同じである限り、それぞれ 1 つの製品であることを表します。

表 2-1 Asset Management 標準インポートファイルのフィールド

列	フィールド名	フィールド定義	コメント
1	PO#	発注書番号	この参照は、補足文書にリンクしたり所有権を証明するのに役立ちます。 記録にはこのフィールドまたは [OrderDate] フィールドのどちらかが含まれている必要があります、1 つ以上のこれらのフィールドを使用して ZENworks Asset Management データベースに一意の購入記録が定義されます。
2	OrderDate	製品が注文された日付	記録にはこのフィールドまたは [PO#] フィールドのどちらかが含まれている必要があります、1 つ以上のこれらのフィールドを使用して ZENworks Asset Management データベースに一意の購入記録が定義されます。
3	Reseller	この注文の製品の販売先となったりセラー	
4	Recipient	この注文の製品の送り先となった個人	
5	CompanyName	注文を実行した会社の名前またはエンティティ	
6	ShippingAddress1	送り先住所の 1 行目	
7	ShippingAddress2	送り先住所の 2 行目	
8	ShippingAddress3	送り先住所の 3 行目	

列	フィールド名	フィールド定義	コメント
9	City	注文が送られた市町村	
10	State	注文が送られた都道府県	
11	Zip	送り先の郵便番号	
12	Country	注文が送られた国	
13	Notes	購入記録に関するメモ用のテキストフィールド	
14	Manufacturer	注文製品の製造元	[Manufacturer]、[ProductName]、[Version]、[ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
15	ProductName	注文製品の名前または説明	このフィールドは必須です。 [Manufacturer]、[ProductName]、[Version]、[ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
16	Version	注文製品のバージョン	[Manufacturer]、[ProductName]、[Version]、[ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
17	ProductType	注文した製品のタイプ	[ProductType] フィールドは、フルライセンス、アップグレード、メディアなど、製品が表す内容の確認に役立ちます。 [Manufacturer]、[ProductName]、[Version]、[ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
18	LicensesPerPackage	製品のこの注文書によって示されるライセンス数	たとえば製品が5パックの場合、この値は5です。デフォルトは1です。 [Manufacturer]、[ProductName]、[Version]、[ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
19	ResellerSKU	リセラーによって割り当てられた SKU 番号	この値は、特定のリセラーとやり取りするときに重要となる場合があります。
20	MfrPart#	製造者によって割り当てられた部品番号	使用可能な場合、この値はしばしば製品を区別するのに使用されます。
21	PurchaseQty	注文での購入単位数	
22	Serial#	注文製品に関連付けられているシリアル番号	

列	フィールド名	フィールド定義	コメント
23	Site ¹	ソフトウェアライセンスが割り当てられているサイト	[Site]、[Department]、および [CostCenter] フィールドは、ZENworks Asset Management で人口統計を追跡するのに使用されます。これらのカラムの任意またはすべての値をライン項目に関連付けて、特定の人口統計内でのライセンス数を集約することができます。これらの値を意味あるものとするためには、対応する人口統計を ZENworks Asset Management インベントリのワークステーションに関連付ける必要があります。
24	Department ¹	ライセンスが割り当てられている部署	
25	CostCenter ¹	ライセンスが割り当てられているコストセンター	
26	Comment	購入した製品に関するメモ用のテキストフィールド	
27	Invoice#	注文製品の請求書番号	この値は、補足文書にリンクしたり所有権を証明するのに役立ちます。 複数の請求書を同じ発注書番号に関連付けることができます。
28	UnitMSRP	製品の製造元の希望小売価格を表す数値フィールド	フィールドに通貨記号と千単位の区切記号が表示されている場合、これらはデータのインポート時に外されます。
29	UnitPrice	製品の単価を表す数値フィールド	インポータはサーバのロケールを使用して、千単位区切およびに通貨単位区切に使用されている文字を判別します。値に複数の通貨が含まれている場合、インポートされたコストの値は正しくない可能性があります。
30	ExtendedPrice	製品の増値を表す数値フィールド	[ExtendedPrice] フィールドに値がない場合、値は [PurchaseQty] フィールドと [UnitPrice] フィールドの値に基づいて計算されます。値が存在する場合は、その値がインポートされ、値が計算値と合致するかどうかはチェックされません。

¹ [CostCenter]、[Department]、[Site] の値は、人口統計割り当てが有効な、ライセンスされた製品に意味があります。対応する人口統計の割り当てタイプ (サイト、部署、コストセンター) を持ち、[今後の購入記録のインポートによって、統計データのライセンス割り当てを更新します] が有効になっているライセンスされた製品に対して、割り当てられた数量 (およびライセンス数量) が更新されます。

Softchoice インポートファイル形式

Softchoice インポートファイルは、ライン項目ごとに行の、タブ区切り ASCII テキストファイルです。ファイルの最初の行にはカラムヘッダが含まれており、[18 ページの図表 2-2](#) で定義されているフィールド名を一致する必要があります。この形式は、Softchoice Corporation の製品履歴レポートから生成されます。

インポートファイルの各行には、購入記録の明細が含まれています。インポートファイルの各行には2つのパートがあります。

- ◆ **購入記録ヘッダフィールド**：これらのフィールドには、特定の請求書、発注書番号、またはその他の購入取引に固有の情報が含まれます。これらは **18 ページの 図表 2-2** のコラム 1-13 に表示されます。購入記録の各明細ごとに、すべての購入記録情報を繰り返す必要があります。
- ◆ **購入記録製品フィールド**：これらのフィールドには購入記録の特定のライン項目に関する情報が含まれます。これらは **18 ページの 図表 2-2** のコラム 14-31 に表示されます。1つの購入記録には複数の請求書、そして1つの請求書または購入記憶には複数のライン項目を含むことができ、各ライン項目のコラム 1-13 が同じである限り、それぞれ1つの製品であることを表します。

注：必要のないコラムは省略することができます。

表 2-2 Softchoice インポートファイルフィールド

列	フィールド名	Softchoice フィールド名	フィールド定義	コメント
1	PO#	PURCHASEORDER	発注書番号	この参照は、補足文書にリンクしたり所有権を証明するのに役立ちます。 記録には [PO#] または [OrderDate] フィールドが含まれている必要があり、1つ以上のこれらのフィールドを使用して ZENworks Asset Management データベースに一意の購入記録が定義されます。
2	OrderDate	ORDERDATE	製品が注文された日付	記録には [PO#] または [OrderDate] フィールドが含まれている必要があり、1つ以上のこれらのフィールドを使用して ZENworks Asset Management データベースに一意の購入記録が定義されます。
3	Reseller		この注文の製品の販売先となったりセラー	
4	Recipient	SHIPCONTACTNAME	この注文の製品の送り先となった個人	
5	CompanyName	COMPANYNAME	注文を実行した会社の名前またはエンティティ	
6	ShippingAddress1	SHIPADDR	送り先住所 1 の 1 行目	

列	フィールド名	Softchoice フィールド名	フィールド定義	コメント
7	ShippingAddress2	SHIPCITYSTZIP	送り先住所の 2 行目	
8	ShippingAddress3		送り先住所の 3 行目	
9	City		注文が送られた市町村	
10	State		注文が送られた都道府県	
11	Zip		送り先の郵便番号	
12	Country		注文が送られた国	
13	Notes		購入記録に関するメモ用のテキストフィールド	
14	Manufacturer	PUBLISHER	注文製品の製造元	[Manufacturer]、 [ProductName]、[Version]、 [ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
15	ProductName	ITEMDESC	注文製品の名前または説明	このフィールドは必須です。 [Manufacturer]、 [ProductName]、[Version]、 [ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
16	Version		注文製品のバージョン	[Manufacturer]、 [ProductName]、[Version]、 [ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。

列	フィールド名	Softchoice フィールド名	フィールド定義	コメント
17	ProductType		注文した製品のタイプ	[ProductType] フィールドは、フルライセンス、アップグレード、メディアなど、製品が表す内容の確認に役立ちます。 [Manufacturer]、[ProductName]、[Version]、[ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
18	LicensesPerPackage		製品のこの注文書によって示されるライセンス数	たとえば製品が5パックの場合、この値は5です。デフォルトは1です。 [Manufacturer]、[[ProductName]、[Version]、[ProductType]、および [LicensesPerPackage] フィールドは、一意の製品の存在を判別するのに使用されます。
19	ResellerSKU	SKU	リセラーによって割り当てられたSKU番号	この値は、特定のリセラーとやり取りするときに重要となる場合があります。
20	MfrPart#	MFGSKU	製造者によって割り当てられた部品番号	使用可能な場合、この値はしばしば製品を区別するのに使用されます。
21	PurchaseQty	QTYORD	注文での購入単位数	
22	Serial#		注文製品に関連付けられているシリアル番号	

列	フィールド名	Softchoice フィールド名	フィールド定義	コメント
23	Site ¹		ソフトウェアライセンスが割り当てられているサイト	[Site]、[Department]、および [CostCenter] フィールドは、ZENworks Asset Management で人口統計を追跡するのに使用されます。これらのカラムの任意またはすべての値をライン項目に関連付けて、特定の人口統計内でのライセンス数を集約することができます。これらの値を意味あるものとするためには、対応する人口統計を ZENworks Asset Management インベントリのワークステーションに関連付ける必要があります。
24	Department ¹		ライセンスが割り当てられている部署	
25	CostCenter ¹		ライセンスが割り当てられているコストセンター	
26	Comment	COMMENTS	購入した製品に関するメモ用のテキストフィールド	
27	Invoice#	INVOICE	注文製品の請求書番号	この値は、補足文書にリンクしたり所有権を証明するのに役立ちます。 複数の請求書を同じ発注書番号に関連付けることができます。
28	UnitMSRP		製品の製造元の希望小売価格を表す数値フィールド	フィールドに通貨記号と千単位の区切記号が表示されている場合、これらはデータのインポート時に外されます。
29	UnitPrice	SELLPRICE	製品の単価を表す数値フィールド	インポータはサーバのロケールを使用して、千単位区切およびに通貨単位区切に使用されている文字を判別します。値に複数の通貨が含まれている場合、インポートされたコストの値は正しくない可能性があります。
30	ExtendedPrice	INVTOTAL	製品の増値を表す数値フィールド	[ExtendedPrice] フィールドに値がない場合、値は [PurchaseQty] フィールドと [UnitPrice] フィールドの値に基づいて計算されます。値が存在する場合は、その値がインポートされ、値が計算値と合致するかどうかはチェックされません。

¹ [CostCenter]、[Department]、[Site] の値は、人口統計割り当てが有効な、ライセンスされた製品に意味があります。対応する人口統計の割り当てタイプ (サイト、部署、コストセンター) を持ち、[今後の購入記録のインポートによって、統計データのライセンス割り当てを更新します] が有効になっているライセンスされた製品に対して、割り当てられた数量 (およびライセンス数量) が更新されます。

次の Softchoice インポートファイルフィールドは、インポート処理中は無視されます。

- ◆ ORDERNO
- ◆ INVDATE
- ◆ PURCHASEREF
- ◆ ORDERSTATUS
- ◆ LINENO
- ◆ QTYSHIP
- ◆ COMPANYNAMESHIP
- ◆ COMPANYNAMEBILL
- ◆ BILLCONTACTNAME
- ◆ BUYERNAME
- ◆ BILLCITYSTZIP
- ◆ ATTN
- ◆ REQ
- ◆ ITEM

2.2 手動での購入記録の作成

コンプライアンスを計算するには、管理ゾーン内にある購入済みソフトウェアすべての購入記録を作成する必要があります。

次のステップでは、手動で購入記録を作成する方法を説明します。購入記録をインポートすることもできます。詳細については、[13 ページのセクション 2.1 「購入記録のインポート」](#)を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[購入記録] をクリックします。

ライセンス管理 > 購入記録

PO番号	注文日	販売者
<input type="checkbox"/> 10077	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> 101	8/4/07	
<input type="checkbox"/> 10100	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> 10101	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> 10102	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> 10127	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> 10135	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> 10159	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> 10191	8/9/07	Software Spectrum
<input type="checkbox"/> 10216	8/9/07	Software Spectrum

- 3 [購入記録] パネルで、[新規] > [購入記録] の順にクリックして、新規購入記録の作成ウィザードを起動します。
- 4 [一般情報] ページで、次のフィールドに情報を入力します。
 - PO 番号:** 発注書番号。必須のエントリです。
 - 受信者:** 発注書に表示されている受取人。
 - 会社:** 製品販売元の会社。
 - 送り先住所:** 会社の住所 (国、都道府県、区市町村、郵便番号を含む)。
 - 注文日付:** 製品が注文された日付。日付を選択するには、カレンダーアイコンをクリックして、ポップアップカレンダーから日付を選択し、[閉じる] をクリックします。
 - リセラー:** リセラーの名前。
 - メモ:** メモがあれば必要に応じて追加します。
- 5 [次] をクリックして [New Purchase Record Summary(新規購入記録の概要)] ページを表示します。
- 6 [作成後に詳細を設定] を選択して、購入記録の詳細を定義します。
- 7 [完了] をクリックして購入記録を作成し、詳細を表示します。
- 8 [購入の詳細] パネルで、[追加] をクリックします。

購買詳細の追加
✕

製品名:*

数量:*

請求書番号:

シリアル番号:

有効期限:

コストセンター:

部署:

サイト:

コメント:

ユニットMSRP:*

単価:*

増値:*

アスタリスクでマークされているフィールドは必須です。

注:コストセンター、部門またはサイトごとに購買を指定するとライセンス割り当て数を指定できません。
[ライセンス製品]-[ライセンス割り当て]タブを使用して、割り当ての詳細を指定してください。

- 9 [購入詳細の追加] ダイアログボックスのフィールドに入力します。

製品：参照アイコンをクリックして、製品を検索します。これらの製品は、購入記録をインポートするか、またはカタログ製品を作成することによって作成されます。購入記録のインポートの詳細については、13 ページのセクション 2.1「購入記録のインポート」を参照してください。カタログ製品の作成の詳細については、27 ページの第 3 章「カタログ製品の操作」を参照してください。

数量：数量を指定します。

請求書番号：請求書番号を指定します。

シリアル番号：製品のシリアル番号。

有効期限日：購入の有効期限日。カレンダーアイコンをクリックして、日付を選択します。[閉じる] をクリックして終了します。

コストセンター：購入担当のコストセンター。

部署：購入に関連付けられている部署。

サイト：部署の所在地。

コメント：コメントがあれば指定します。

[ユニット MSRP(\$)]：製品の製造元の希望小売価格 (MSRP)。この値は必須です。

単価 (\$)：製品の単価。この値は必須です。

増値 (\$)：製品の増値。この値は必須です。

注：[サイト]、[部署]、[コストセンター] フィールドは人口統計の追跡に使用され、特定の人口統計でのライセンス数量を集計します。ただし、ここに入力された数量は、人口統計ライセンス割り当てには引き継がれません。ライセンス製品の [ライセンス割り当て] ページを使用して、割り当て数量を指定します。

10 [OK] をクリックします。

2.3 購入概要レコードの作成

購入概要レコードには、計算に使用するライセンス数を手動で入力できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/>	名前 ▲	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量
<input type="checkbox"/>	Microsoft .NET Framework 2	🟡	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1
<input type="checkbox"/>	Mozilla.org Firefox 2	🟢	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	1
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 23e43	🔴	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0

1-3/3 25 ▾ 項目の表示

- 3 [ライセンスされた製品] パネルで、購入概要レコードを作成する製品をクリックします。
- 4 [ライセンスの権限] タブをクリックします。

全般							
ライセンスの管理							
コンプライアンスステータス							
ライセンス割り当て							
権限(使用データベース: インベントリ)							
新規 削除							
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量
使用できる項目がありません。							
権限(使用データベース: 手動)							
新規 削除							
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量
<input checked="" type="checkbox"/>	ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	無制限	0	0
合計:						0	0

- 5 購入概要レコードに関連付けるエンタイトルメントをクリックします。
- 6 [所有権の証明] タブをクリックします。

一般			所有権の証明		契約	
カタログ製品						
追加 削除						
<input type="checkbox"/>	製品名		購入数量	ライセンス数量		
<input checked="" type="checkbox"/>	ACME Jumble 2 (Full License) (1)		2	2		
合計:			2	2		
購入概要レコード						
新規 削除						
<input type="checkbox"/>	説明	入力日	入力者	ライセンス数量	総コスト	
<input checked="" type="checkbox"/>	ACME Purchase	08/07/31	administrator	2	0.00	
合計:				2	0.00	
契約						
追加 削除						
<input type="checkbox"/>	契約no	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日
使用できる項目がありません。						
Fコメント						
追加 削除						
<input type="checkbox"/>	ドキュメントno	ファイル名	添付日	ファイルタイプ	ファイルサイズ(mb)	説明
使用できる項目がありません。						

- 7 [購入概要レコード] パネルで、[新規] をクリックして、新規購入概要レコードの作成ウィザードを開きます。
- 8 [一般情報] ページで、次のフィールドに情報を入力します。
説明 : 購入概要レコードの説明を指定します。
ライセンス数 : コンプライアンスの計算に使用するライセンスの数を指定します。
合計コスト : エンタイトルメントに関連付けられている合計コストを指定します。
メモ : メモがあれば指定します。
- 9 [次] をクリックして [New Purchase Record Summary(新規購入記録の概要)] ページを表示します。
- 10 [作成後に詳細を設定] を選択して、購入記録の詳細を定義します。
- 11 [完了] をクリックして購入記録概要を作成し、詳細を表示します。
- 12 [全般] パネルで、必要に応じて編集を行います。

The screenshot shows a software configuration window with three panels:

- 全般 (General):** Contains fields for Description (ACME), Entry Date (09/05/26), Entry User (administrator), License Count (2), and fields for Summary and Remarks.
- 変更履歴 (Change Summary):** A table with columns for Change Date, Change User, License Count (Before), License Count (After), and Description (Before/After). It shows a message: "使用できる項目がありません。" (No items available for use).
- ドキュメント (Documents):** A table with columns for Add, Delete, Document ID, File Name, Date Added, File Type, File Size (KB), Description, and Attach. It also shows a message: "使用できる項目がありません。" (No items available for use).

Buttons for "適用" (Apply) and "リセット" (Reset) are located at the bottom of the window.

- 13 ドキュメントを購入概要レコードに関連付けます。
 - 13a [ドキュメント] パネルで、[追加] をクリックします。
 - 13b [エンタイトルメントのドキュメントの選択] ダイアログボックスでファイルを選択します。
 - 13c [OK] をクリックします。
- 14 [適用] をクリックします。

カタログ製品の操作

カタログ製品は、購入記録をインポートすると自動的に作成されます。購入記録をインポートしない場合、カタログ製品を手動で作成する必要があります。次のセクションでは、カタログ製品作成の詳細について説明します。

- ◆ 27 ページのセクション 3.1 「購入記録からのカタログ製品の作成」
- ◆ 27 ページのセクション 3.2 「手動でのカタログ製品の作成」
- ◆ 28 ページのセクション 3.3 「カタログ製品の包含と除外」
- ◆ 29 ページのセクション 3.4 「ライセンス製品へのカタログ製品の追加」

3.1 購入記録からのカタログ製品の作成

ZENworks® Asset Management では、購入記録をインポートして、インポートした購入記録から自動的にカタログ製品を作成することができます。購入記録のインポートおよびカタログ製品の作成の詳細については、13 ページのセクション 2.1 「購入記録のインポート」を参照してください。

3.2 手動でのカタログ製品の作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品						
名前	パッケージ名	製品番号	製造者ID	購入	ライセンス	ライセンスID
4D TECHNOLOGIES, INC. CD DUPE.MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WRN (CD) (NR) 2000 (FF_Media Duplication) (1)				1	C49567	C49567
ACME Jumble 2 (Full License) (1)				1		Jumble
ACME Turbo (Version Upgrade) (1)				1		
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT CAPTURE V2.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)				1	22101156	A59587
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)				1	22001438	A68210
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)				1	22001440	A68250
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)				1	27590080	A69412
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE GOLDEN V6.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)				1	23200324	A84261
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE Pagemaker V7.0 MP (CD) (EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)				1	27530341	A69856
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE Pagemaker V7.0.2 MP UPG (CD) (EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)				1	27530402	A104342

- 3 [新規] > [カタログ製品] の順にクリックして、新規カタログ製品の作成ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[一般情報] ページ	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p>製造元: 製品の製造元を指定します。</p> <p>製品: 製品の名前を指定します。</p> <p>製品タイプ: 製品のタイプを選択します。</p> <p>バージョン: 製品バージョンを指定します。</p> <p>製造者パート #: 製品の部品番号を指定します。</p> <p>リセラー SKU: リセラーのSKUを指定します。</p> <p>パッケージ別ライセンス: パッケージに付属していたライセンス数を指定します。</p> <p>メモ: 必要に応じて、メモを追加します。</p> <p>除外: [除外] を選択すると、コンプライアンスの計算から製品を取り除くことができます。</p>
[新規カタログ製品のサマ リ] ページ	データを確認します。

4 [終了] をクリックしてカタログ製品を作成します。

3.3 カタログ製品の包含と除外

カタログ製品をライセンス製品に追加したいが、ライセンスコンプライアンス計算の対象からは外したい場合があります。この場合、カタログ製品をこの計算から除外できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[カタログ製品] をクリックします。

名前	パッケージあたりの ライセンス	製造者部品番号	製造者SKU	購入 数量	ライセンスされた製品	ライセンスエクステンション
AD TECHNOLOGIES, INC. CD DUPE. MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT WIN (CD) (MS) 2000 (FF_Media Duplication) (1)	1		C49567	C49567	1	
ACME Jumble 2 (Full License) (1)	1				2	Jumble
ACME Turbo (Version Upgrade) (1)	1					
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22101156	A59587		1	
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001438	A68210		2	
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) (1)	1	22001440	A68250		3	
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27590080	A69412		1	
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE GOLDFE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) (1)	1	23200324	A84261		2	
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE PAGERMAKER V7.0 MP (CD) (EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530341	A69856		1	
ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE PAGERMAKER V7.0 2 MP (MP) (CD) (EU) 7 (Shrinkwrap Product) (1)	1	27530402	A104342		1	

- 3 含めるか、または除外するカタログ製品を選択します。
- 4 次のいずれかをクリックします。
 - ◆ [アクション] > [除外]
 - ◆ [アクション] > [対象項目]

3.4 ライセンス製品へのカタログ製品の追加

カタログ製品をライセンス製品に追加する際、カタログ製品に関連付けられたライセンスはすべて、ライセンス製品に適用されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[カタログ製品] をクリックします。

カタログ製品		パッケージ名		購入		ライセンス	
名前	ライセンス	製品番号	販売者SKU	価格	数量	ライセンスされた製品	ライセンスエンタイトルメント
<input type="checkbox"/>	4D TECHNOLOGIES, INC. CD DUPE MS OFFICE 2000 STANDARD 32 BIT.WIN (CD) (NR) 2000 (FF_Media Duplication) [1]	1	C49567	C49567	1		
<input type="checkbox"/>	ACME Jumble 2 (Full License) [1]	1			2	Jumble	
<input type="checkbox"/>	ACME Turbo Iverston Upgrade [1]	1					
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT CAPTURE V3.0 PERSONAL ED.WNT (CD) 3 (Shrinkwrap Product) [1]	1	22101156	A59587	1		
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT V5.0 MP (CD) 5 (Shrinkwrap Product) [1]	1	22001438	A68210	2		
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE ACROBAT V5.0 MP UPG (CD) 5 (Shrinkwrap Product) [1]	1	22001440	A68250	3		
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE DESIGN COLLECTION V4.0 MP (CD) 4 (Shrinkwrap Product) [1]	1	27590080	A69412	1		
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE GOOLIVE V6.0 MP (CD) 6 (Shrinkwrap Product) [1]	1	23200324	A84261	2		
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE Pagemaker v7.0 MP (CD) (EU) 7 (Shrinkwrap Product) [1]	1	27530341	A69896	1		
<input type="checkbox"/>	ADOBE SYSTEMS, INC. ADOBE Pagemaker v7.0.3 MP UPG (CD) (EU) 7 (Shrinkwrap Product) [1]	1	27530402	A104342	1		

- 3 ライセンス製品に追加するカタログ製品を選択します。
1つ以上のカタログ製品を選択できます。
- 4 [アクション] > [ライセンスされた製品に追加] の順にクリックして、[カタログ製品をライセンス製品に追加] ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ

詳細

[ライセンスされた製品] ページ リストにされたカタログ製品に対してライセンス製品を選択します。

カタログ製品: 選択したカタログ製品を表示します。

ライセンス製品: 検索アイコンをクリックして、カタログ製品に関連付けるライセンス製品を検索します。

[ライセンスエンタイトルメント] ページ カatalog製品のライセンスエンタイトルメントを選択します。

[サマリ] ページ データを確認します。

- 5 [終了] をクリックしてウィザードを完了します。

検出された製品の操作

検出された製品とは、管理ゾーンのデバイスのインベントリスキャンによって特定された製品のことで、インベントリスキャンの詳細については、『ZENworks 10 アセットインベントリリファレンス』を参照してください。

- ◆ 31 ページのセクション 4.1 「検出された製品の詳細の表示」
- ◆ 34 ページのセクション 4.2 「検出された製品の包含と除外」
- ◆ 34 ページのセクション 4.3 「ライセンス製品への検出された製品の関連付け」
- ◆ 35 ページのセクション 4.4 「ソフトウェアコレクションへの検出された製品の追加」
- ◆ 36 ページのセクション 4.5 「標準カテゴリの設定」
- ◆ 37 ページのセクション 4.6 「コンプライアンスステータスの更新」

4.1 検出された製品の詳細の表示

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品						
アクション						
<input type="checkbox"/>	名前	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数量	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)			2	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)		Java2 Runtime Environment	1	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)			4	0	
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)			5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)			5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Reporting Server 10.2 (Windows)			1	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Reporting Service Component 10.2 (Windows)			1	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Wake-on-LAN Handler 10.2 (Windows)			5	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Database 11g 11.1 (Windows)			1	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Database 11g Client 11.1 (Windows)			1	1	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Enterprise Manager 10.2 (Windows)			1	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Wallet Manager 11.1 (Windows)			1	0	
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 1.5 (Windows)			2	1	
<input type="checkbox"/>	Sun Microsystems OpenOffice.org 3.0 (Windows)			1	0	
<input type="checkbox"/>	Sybase SQL Anywhere Developer Edition 10.0 (Windows)			1	0	

[検出された製品] パネルが表示され、次の詳細が表示されます。

名前: 検出された製品の名前。

除外: 検出された製品がコンプライアンスの計算から除外されることを示します。

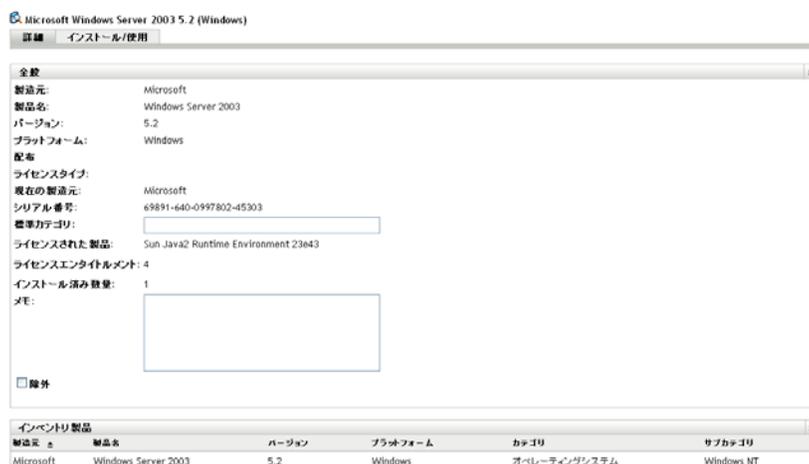
ライセンス製品: 検出された製品に関連付けられているライセンス製品。

インストール済み数量: 管理ゾーンへのインストール数。

アクティブな使用量: アクティブに使用されているインストール済みの製品数。[アクティブな使用量] は、[ライセンス管理ページに使用状況を表示しません] オプションが選択されている場合は表示されません ([設定] > [管理ゾーンの設定] > [Asset Management] > [使用表示])。

標準カテゴリ: 製品のカテゴリ。

- 3 詳細を表示する検出された製品をクリックします。



[詳細] ページが表示されます。このページは、[全般] および [インベントリ製品] という 2つのパネルで構成されます。

[全般] パネル: 次を含む製品の一般情報が表示されます。

- ◆ **製造元**: 製品の製造元。
- ◆ **製品**: 製品名。
- ◆ **バージョン**: 製品のバージョン。
- ◆ **プラットフォーム**: 製品のプラットフォーム (Windows または Mac)。
- ◆ **配布**: ライセンスの配布タイプ。
- ◆ **ライセンスタイプ**: ライセンスのタイプ。
- ◆ **現在の製造元**: 製品の現在の製造元。
- ◆ **シリアル番号**: 製品のシリアル番号。
- ◆ **標準カテゴリ**: 製品のカテゴリ。カテゴリを選択して、[適用] をクリックします。
- ◆ **インストール済み数量**: 管理ゾーンへのインストール数。
- ◆ **メモ**: メモがあれば追加して、[適用] をクリックします。
- ◆ **除外**: コンプライアンスの計算から製品を除外する場合、[除外] を選択します。

[インベントリ製品] パネル: 検出された製品を構成するインベントリ製品の情報が表示されます。一般的には、検出された製品は複数のインベントリ製品に関連付けられています。

- ◆ **製造元**: 製品の製造元。
- ◆ **製品**: 製品名。
- ◆ **バージョン**: 製品のバージョン。
- ◆ **プラットフォーム**: 製品のプラットフォーム (Windows* または Mac*)。
- ◆ **カテゴリ**: 製品のカテゴリ。
- ◆ **サブカテゴリ**: 製品のサブカテゴリ。

4 [インストール/使用] タブをクリックします。



[インストール/使用] ページが表示されます。このページは、[インストール] および [使用] という 2 つパネルで構成されます。

[インストール] パネル: 管理ゾーン内にある、該当製品がインストールされているデバイスのリストです。次の情報も表示されます。

- ◆ **マシン名**: マシンの名前。マシン名をクリックすると、デバイスの詳細を表示できます。
- ◆ **ログイン名**: デバイスのログイン名。
- ◆ **IP アドレス**: デバイスの IP アドレス。
- ◆ **サイト**: デバイスの位置。
- ◆ **部署**: デバイスに関連付けられている部署。
- ◆ **コストセンター**: デバイスに関連付けられているコストセンター。
- ◆ **無視**: インストールを無視するかどうかが表示されます。デバイスを選択して、[アクション] > [無視] をクリックすると、このインストールを無視できます。[アクション] > [インストールの認識] をクリックすると、インストールを再認識できます。
- ◆ **シリアル番号**: 製品シリアル番号。
- ◆ **アクティブな時間**: 製品がアクティブになっていた時間。30 分未満の動作には、カラムには 0(ゼロ)が表示されます。
- ◆ **アクティブなインストール使用量**: インストールされた製品が指定された使用期間でアクティブに使用されていた、ワークステーションの総数。

[使用] パネル: 次の項目を含む、使用に関する詳細。

- ◆ **無視されたインストール**: 検出された製品のインストールが無視された数。
- ◆ **認識されたインストール**: 認識されたインストールの数。
- ◆ **追加コンサンクション**: 追加の使用を指定して、[適用] をクリックします。
- ◆ **総使用量**: 総使用量。

4.2 検出された製品の包含と除外

検出された製品をライセンス製品に追加したいが、ライセンスコンプライアンス計算の対象からは外したい場合があります。この場合、検出された製品をこの計算から除外できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[検出された製品] をクリックします。



名前	除外	ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな数	カテゴリ
Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)			2	0	
Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)		Java2 Runtime Environment	1	0	
Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)			4	0	
Novell Novell CASA 1.7 (Windows)			5	0	
Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)			5	0	
Novell ZENworks Reporting Server 10.2 (Windows)			1	0	
Novell ZENworks Reporting Service Component 10.2 (Windows)			1	0	
Novell ZENworks Wake-on-LAN Handler 10.2 (Windows)			5	0	
Oracle Oracle Database 11g 11.1 (Windows)			1	0	
Oracle Oracle Database 11g Client 11.1 (Windows)			1	1	
Oracle Oracle Enterprise Manager 10.2 (Windows)			1	0	
Oracle Oracle Wallet Manager 11.1 (Windows)			1	0	
Sun Java2 Runtime Environment 1.5 (Windows)			2	1	
Sun Microsystems OpenOffice.org 3.0 (Windows)			1	0	
Sybase SQL Anywhere Developer Edition 10.0 (Windows)			1	0	

- 3 含めるか、または除外する製品を選択します。
- 4 次のいずれかをクリックします。
 - ◆ [アクション] > [対象項目]
 - ◆ [アクション] > [除外]

4.3 ライセンス製品への検出された製品の関連付け

検出された製品をライセンス製品と関連付ける際、検出された製品はライセンスを1つ使用します。これは、カタログ製品のライセンス製品への関連付けと同様、ライセンス製品のコンプライアンスを示すものです。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品			
アクション			
名前	除外 ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用量 備考カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)	2	0
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)	Java2 Runtime Environment 1	0
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)	4	0
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)	5	0
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)	5	0
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Reporting Server 10.2 (Windows)	1	0
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Reporting Service Component 10.2 (Windows)	1	0
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Wake-on-LAN Handler 10.2 (Windows)	5	0
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Database 11g 11.1.1 (Windows)	1	0
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Database 11g Client 11.1.1 (Windows)	1	1
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Enterprise Manager 10.2 (Windows)	1	0
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Wallet Manager 11.1 (Windows)	1	0
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 1.5 (Windows)	2	1
<input type="checkbox"/>	Sun Microsystems OpenOffice.org 3.0 (Windows)	1	0
<input type="checkbox"/>	Sybase SQL Anywhere Developer Edition 10.0 (Windows)	1	0

- ライセンス製品に関連付ける検出された製品を選択します。
- [アクション] > [ライセンスされた製品に追加] の順にクリックして、[検出された製品をライセンス製品に追加] ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[ライセンスされた製品] ページ	検出された製品に関連付けるライセンス製品を選択します。
[ライセンスエンタイトルメント] ページ	ライセンス製品のライセンスエンタイトルメントを選択します。
[サマリ] ページ	データを確認します。

- [終了] をクリックしてウィザードを完了します。

4.4 ソフトウェアコレクションへの検出された製品の追加

- ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- [ライセンス管理] パネルで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品				
アクション				
名前	除外 ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)	2	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)	Java2 Runtime Environment 1	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)	4	0	
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)	5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)	5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Reporting Server 10.2 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Reporting Service Component 10.2 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Wake-on-LAN Handler 10.2 (Windows)	5	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Database 11g 11.1.1 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Database 11g Client 11.1.1 (Windows)	1	1	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Enterprise Manager 10.2 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Wallet Manager 11.1 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 1.5 (Windows)	2	1	
<input type="checkbox"/>	Sun Microsystems OpenOffice.org 3.0 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Sybase SQL Anywhere Developer Edition 10.0 (Windows)	1	0	

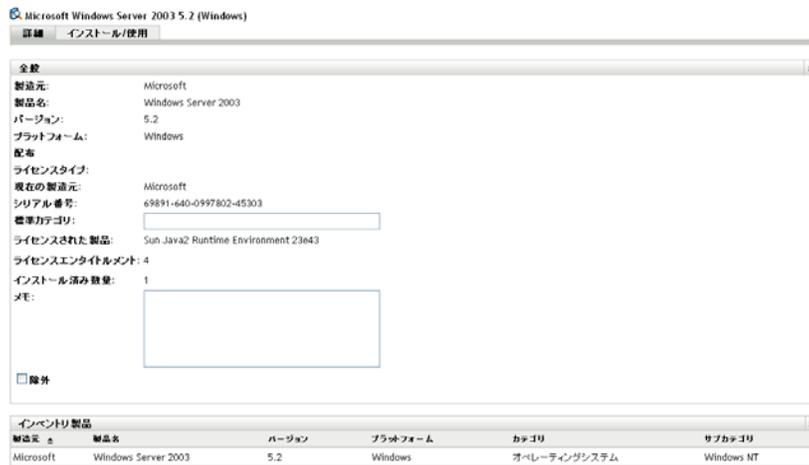
- ソフトウェアコレクションに追加する検出された製品を選択します。
- [アクション] > [ソフトウェアコレクションへの追加] をクリックします。
ソフトウェアコレクションの作成の詳細については、**101 ページのセクション 9.1 「ソフトウェアコレクションの作成」**を参照してください。

4.5 標準カテゴリの設定

- ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- [ライセンス管理] パネルで、[検出された製品] をクリックします。

検出された製品				
アクション				
名前	除外 ライセンスされた製品	インストール済み数	アクティブな使用量	標準カテゴリ
<input type="checkbox"/>	Adobe Adobe Flash Player Plugin 10.0 (Windows)	2	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows Server 2003 5.2 (Windows)	Java2 Runtime Environment 1	0	
<input type="checkbox"/>	Microsoft Windows XP Professional 5.1 (Windows)	4	0	
<input type="checkbox"/>	Novell Novell CASA 1.7 (Windows)	5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Imaging Agent 10.2 (Windows)	5	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Reporting Server 10.2 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Reporting Service Component 10.2 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Novell ZENworks Wake-on-LAN Handler 10.2 (Windows)	5	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Database 11g 11.1.1 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Database 11g Client 11.1.1 (Windows)	1	1	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Enterprise Manager 10.2 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Oracle Oracle Wallet Manager 11.1 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Sun Java2 Runtime Environment 1.5 (Windows)	2	1	
<input type="checkbox"/>	Sun Microsystems OpenOffice.org 3.0 (Windows)	1	0	
<input type="checkbox"/>	Sybase SQL Anywhere Developer Edition 10.0 (Windows)	1	0	

- 標準カテゴリを設定する、検出された製品をクリックします。



4 [標準カテゴリ] フィールドで、カテゴリを指定します。

5 [適用] をクリックします。

4.6 コンプライアンスステータスの更新

コンプライアンスデータを更新すると、検出された製品すべてのインストール数が再計算され、すべてのライセンスのコンプライアンスステータスが再計算されます。

- ◆ [37 ページのセクション 4.6.1 「更新のトリガ」](#)
- ◆ [38 ページのセクション 4.6.2 「更新の詳細を表示」](#)

4.6.1 更新のトリガ

コンプライアンスデータはさまざまな状況下で更新されます。手動で更新をトリガするには、[ライセンスされた製品] ページまたは [検出された製品] ページで、[アクション] > [コンプライアンスステータスの更新] の順にクリックします。購入記録をインポートすると自動的に更新がトリガされますが、ライセンス製品の自動調整を実行しても自動更新はトリガされません。

1 個のライセンスの更新は、次の状況下で自動的にトリガされます。

- ◆ エンタイトルメントの作成または削除
- ◆ エンタイトルメントに購入概要を追加
- ◆ ライセンスにカタログ製品を追加
- ◆ ライセンスに関連付けられたカタログ製品の変更
- ◆ ライセンスに検出された製品を追加
- ◆ ライセンスに関連付けられた検出された製品の変更
- ◆ 検出された製品のインストール (ライセンスに関連付け) を無視としてマークする
- ◆ ライセンスに関連付けられている購入記録を削除
- ◆ ライセンスに関連付けられているソフトウェアコレクションを削除

4.6.2 更新の詳細を表示

[ライセンスされた製品] ページおよび [検出された製品] ページの両方のメニューバーで最新の更新情報を参照できます。この情報には、次の内容が含まれています。

- ◆ コンプライアンスの更新が最後に開始または終了した日時。
- ◆ 更新を起動した事象
- ◆ すべての製品の更新または単一製品の更新かどうか

[ライセンスされた製品] ページの [コンプライアンスステータス] タブにはライセンスが最後に更新された日時も表示されます。また、[ライセンス管理レポート] > [ソフトウェアコンプライアンス] > [コンプライアンスレポート] の順にクリックすると、あるライセンスがすべてのライセンスの最終フルリフレッシュより最近に更新されているかどうかを示す [最近の再計算] と呼ばれるカラムが表示されます。

ライセンス製品の作成

ライセンス製品はコンプライアンスを判断するために使用されます。

- ◆ 39 ページのセクション 5.1 「ライセンス製品の詳細の表示」
- ◆ 45 ページのセクション 5.2 「購入記録とのライセンス製品の調整」
- ◆ 46 ページのセクション 5.3 「手動でのライセンス製品の作成」
- ◆ 48 ページのセクション 5.4 「ライセンスエンタイトルメントの定義」
- ◆ 52 ページのセクション 5.5 「コンプライアンスの更新ステータス」

5.1 ライセンス製品の詳細の表示

ライセンス製品の詳細を表示して、ライセンスのコンプライアンスやエンタイトルメントなどの一般情報を参照できます。エンタイトルメントの追加や人口統計またはデバイスに応じたライセンスの割り当てなどのタスクも実行できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 移動... 削除 アクション						
名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

次の詳細とともに、ライセンス製品のリストが表示されます。

名前: ライセンス製品の名前。

ステータス: 製品のライセンスコンプライアンスのステータスを示します。

- ◆ 正しいライセンスあり: ライセンス数がインストール数に一致しています。
- ◆ ライセンス切: インストール数以上のライセンスがあります。
- ◆ ライセンスあり: ライセンス数以上のインストールがあります。

検出された製品: 検出された製品にライセンス製品が関連付けられていることを示します。

カタログ製品: ライセンス製品がカタログ製品に関連付けられていることを示します。

ライセンス数: 製品のライセンス数が表示されます。

割り当てられた数量: 割り当てられた数量の合計が表示されます。数字をクリックすると [ライセンス割り当て] ページが表示され、ライセンス割り当てが統計別およびデバイス別にリストの表示されます。

3 ライセンス製品をクリックします。

Microsoft .NET Framework 2

全般 ライセンスの権限 コンプライアンスステータス ライセンス割り当て

全般

製造元: Microsoft

ライセンスされた製品: Microsoft

バージョン: .NET Framework

メモ:

ライセンス割り当ての設定

統計割り当ての有効化

統計割り当てタイプ:

サイト

部署

コストセンター

今後の購買記録のインポートによって、統計データのライセンス割り当てを更新します

割り当てられた数量: 1

注: ライセンス製品リストの[アクション]メニューから[割り当ての初期化]を使用して、現在の在庫または購入レコードデータを基にライセンス割り当てを作成します。統計およびデバイス割り当てを管理するには、[ライセンス割り当て]タブにアクセスしてください。

適用 リセット

各ページ(全般、ライセンスエンタイトルメント、コンプライアンスステータス、ライセンス割り当て)について、次のセクションで説明します。

- ◆ 40 ページのセクション 5.1.1 「全般」
- ◆ 41 ページのセクション 5.1.2 「ライセンスエンタイトルメント」
- ◆ 44 ページのセクション 5.1.3 「コンプライアンスステータス」
- ◆ 44 ページのセクション 5.1.4 「ライセンス割り当て」

5.1.1 全般

[全般] ページでは、ライセンス製品についての一般情報を参照でき、ライセンスで人口統計割り当てをサポートするかどうかを設定できます。

Microsoft .NET Framework 2

全般 ライセンスの権限 コンプライアンスステータス ライセンス割り当て

全般

製造元: Microsoft

ライセンスされた製品: Microsoft

バージョン: .NET Framework

メモ:

ライセンス割り当ての設定

統計割り当ての有効化

統計割り当てタイプ:

サイト

部署

コストセンター

今後の購買記録のインポートによって、統計データのライセンス割り当てを更新します

割り当てられた数量: 1

注: ライセンス製品リストの[アクション]メニューから[割り当ての初期化]を使用して、現在の在庫または購入レコードデータを基にライセンス割り当てを作成します。統計およびデバイス割り当てを管理するには、[ライセンス割り当て]タブにアクセスしてください。

適用 リセット

タブには次のパネルが含まれます。

- ◆ 41 ページの「[全般] パネル」
- ◆ 41 ページの「[ライセンス割り当て] パネル」

[全般] パネル

[全般] パネルには、次のデータがあります。

- ◆ **製造元**：製品の製造元。製造元を変更するには、新しい値を指定して [適用] をクリックします。
- ◆ **ライセンス製品**：製品の名前。名前を変更するには、新しい値を指定して [適用] をクリックします。
- ◆ **バージョン**：製品のバージョン番号。バージョンを変更するには、新しい値を指定して [適用] をクリックします。
- ◆ **メモ**：ある場合、メモ。メモがあれば追加して、[適用] をクリックします。
- ◆ **管理者定義のフィールド**：ライセンスに対して管理者定義フィールドが表示されます。このフィールドを編集するには、新しい値を指定して [適用] をクリックします。詳細については、119 ページの第 11 章「管理者定義フィールドの使用」を参照してください。

[ライセンス割り当て] パネル

[ライセンス割り当ての設置] パネルには、次のデータがあります。

- ◆ **統計割り当ての有効化**：このオプションを選択して、サイト、部署、コストセンター別にライセンスを割り当てられるようにします。
- ◆ **統計割り当てタイプ**：このライセンスの割り当てに使用する人口統計タイプ (サイト、部署、またはコストセンター) を選択します。
- ◆ **ライセンス割り当てを更新**：このオプションを選択して、新しい購入記録が追加されたときに常にライセンス割り当てが更新されるようにします。たとえば、ライセンスがサイト割り当てを使用し、20 の新規ライセンスを持つ購入記録を SiteA に追加する場合、この割り当ては [ライセンス割り当て] ページの割り当てリストに追加されます。
- ◆ **割り当てられた数量**：割り当てられたライセンスの合計。この数値は、[ライセンス割り当て] ページのリストに表示された割り当てをまとめたものです。

5.1.2 ライセンスエンタイトルメント

[ライセンスの権限] ページが表示されます。このページは、[権限 (使用データソース：インベントリ)] および [権限 (使用データソース：手動)] という 2 つのパネルで構成されます。

全般 ライセンスの権限 コンプライアンスステータス ライセンス割り当て							
権限(使用データソース:インベントリ)							
削除 削除							
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量
<input checked="" type="checkbox"/>	ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	インストールごと	8	8
合計:						8	8
権限(使用データソース:手動)							
削除 削除							
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量
使用できる項目がありません。							

これらのページには、次の詳細情報が表示されます。

- ◆ **説明**：エンタイトルメントの説明。
 - ◆ **タイプ**：ライセンスタイプ。
 - ◆ **ライセンス期間**：ライセンス期間が永続的か、期間かを示します。
 - ◆ **期間ライセンスステータス**：ライセンス期間の有効期限が切れているかどうかを示します。
 - ◆ **ライセンスモデル**：ライセンスモデルのタイプ。ライセンスモデルは、ライセンスの使用を判断する方法（インベントリスキャン、またはライセンス数量の手動での指定）に従って整理されています。
 - ◆ **ライセンス数**：ライセンス数。
 - ◆ **使用可能な数量**：使用可能なライセンスの数。これは、ライセンスの合計数から、使用しているライセンスを引くことによって計算されます。
 - ◆ **カバーされたバージョン**：このライセンスエンタイトルメントでカバーされているバージョン。
 - ◆ **アップグレード元**：エンタイトルメントのタイプが「バージョンのアップグレード」の場合、このカラムには、アップグレードする前のバージョンが表示されます。
- 1 エンタイトルメントをクリックして、該当するエンタイトルメントに関する情報を表示します。

- ◆ [42 ページの「全般」](#)
- ◆ [43 ページの「所有権の証明」](#)
- ◆ [44 ページの「範囲」](#)

全般

[全般] ページには、エンタイトルメントについての一般情報が表示されます。

全般 所有権の証明 範囲

全般

説明: 5

エンタイトルメントタイプ: フルライセンス

プラットフォーム: Windows

ライセンス期間: 永久 期間

開始日: 09/05/27

終了日: 09/05/27

ライセンスモデル: インストールごと

ライセンス数量: 1

使用可能な数量: 1

カバーされたバージョン:

メモ:

アスタリスクでマークされているフィールドは必須です。

適用 リセット

- ◆ **説明**：エンタイトルメントの説明または名前を表示します。
- ◆ **エンタイトルメントタイプ**：エンタイトルメント作成時に選択されたエンタイトルメントタイプを表示します。
- ◆ **プラットフォーム**：製品のプラットフォームを表示します。

- ◆ **ライセンス期間** : エンタイトルメント作成時に選択されたライセンス期間を表示します。
- ◆ **ライセンスモデル** : ライセンスモデルを表示します。使用できるオプションは、インベントリまたは手動モデルにより異なります。
- ◆ **ライセンス数** : ライセンス数を表示します。
- ◆ **使用数量 (マニュアルによる使用のみ)** : 使用しているライセンスの数を表示します。
- ◆ **仮想マシン使用権限** : 仮想マシンのインストールおよびライセンスに関連しているエンタイトルメントに関連付けられている条件を指定します。
- ◆ **メモ** : 任意のメモを表示します。
- ◆ **変更履歴 (マニュアルによる使用のみ)** : 変更されたときの情報、変更を行ったユーザ、使用された数量と説明への変更内容など、エンタイトルメントの変更履歴を表示します。

所有権の証明

[所有権の証明] ページには、エンタイトルメントと関連付けられた所有権情報が表示されます。

一般		所有権の証明				監視	
カタログ製品							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	製品名	購入数量	ライセンス数量				
<input type="checkbox"/>	ACME Jumble 2 (Full License) (1)	2	2				
合計:		2	2				
購入概要レコード							
新規 削除							
<input type="checkbox"/>	説明	入力日	入力者	ライセンス数量	総コスト		
<input type="checkbox"/>	ACME Purchase	08/07/31	administrator	2	0.00		
合計:				2	0.00		
契約							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	契約ID	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	
使用できる項目がありません。							
Fコメント							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	FコメントID	ファイル名	添付日	ファイルタイプ	ファイルサイズ(psz)	説明	添付者
使用できる項目がありません。							

[所有権の証明] ページには、次のパネルが表示されます。

- ◆ **カタログ製品** : このライセンスとエンタイトルメントに関連付けられたカタログ製品のリストが表示されます。[追加] をクリックして、追加のカタログ製品を関連付けます。
- ◆ **購入概要レコード** : このライセンスとエンタイトルメントに関連付けられた、概要レコードのリストが表示されます。[新規作成] をクリックして、新しいアイコンを作成します。
- ◆ **契約** : このライセンスとエンタイトルメントに関連付けられた契約のリストが表示されます。[追加] をクリックして、追加の契約を関連付けます。
- ◆ **文書** : このライセンスとエンタイトルメントに関連付けられた文書のリストが表示されます。[追加] をクリックして、追加の文書を関連付けます。

範囲

[範囲] ページには、エンタイトルメントに含まれる検出された製品のバージョンとマシンがのリストが表示されます。[カバーされているマシン] パネルは、エンタイトルメントライセンスモデルが *OEM* またはマシンの場合のみ、表示されます。

全数	所有権の証明	範囲					
カバーされている検出された製品バージョン							
追加 - 削除							
<input type="checkbox"/>	製造元	製品名	バージョン	プラットフォーム	配布	ライセンスタイプ	シリアル番号
使用できる項目がありません。							

5.1.3 コンプライアンスステータス

[コンプライアンスステータス] ページでは、製品に関連付けられたライセンス数とデバイスが使用するライセンス数を表示できます。結果として、使用状況が使用許諾契約に準拠しているかどうかを示されます。

全数	ライセンスの概要	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て			
最新時刻: 2019/05/27 14:17:56 検索範囲: 所有						
ライセンス使用(使用データソース: インベントリ)						
アクション						
検出された製品 #	配布	ライセンスタイプ	シリアル番号	インストール済み数	検出されたインストーラ	追加コンプライアンス
		69712-347-8481644-42264	1	0	1	0
合計:	0	99900	1		1	
コンプライアンスステータス(使用データソース: インベントリ)						
タイプ	カバーされたバージョン	ライセンス数	検出されたライセンス	残っている在庫		
バージョン固有		8	0	8		
合計:		8	0			
コンプライアンスステータス(使用データソース: 手動)						
ライセンスエンタイトルメント	ライセンス数	検出されたライセンス	残っている在庫			
使用できる項目がありません。						

[コンプライアンスステータス] ページには、3つのパネルがあります。

- ◆ **ライセンスコンプライアンス (使用データソース: インベントリ):** インベントリスキャンによって判断されたライセンスの使用が表示されます。
- ◆ **コンプライアンスステータス (使用データソース: インベントリ):** インベントリスキャンによって収集された情報に基づいた、ライセンスのコンプライアンスステータスが表示されます。
- ◆ **コンプライアンスステータス (使用データソース: 手動):** 手動で入力したライセンス数量から計算されたライセンスのコンプライアンスステータスが表示されます。

注: コンプライアンスステータスは毎日更新されます。コンプライアンスステータスを手動で更新するには、ライセンス製品ページを開き、[アクション] > [コンプライアンスステータスの更新] をクリックします。

5.1.4 ライセンス割り当て

[ライセンス割り当て] ページには、製品のライセンスの割り当て方法が表示されます。

全般 ライセンスの権限 コンプライアンスステータス **ライセンス割り当て**

統計割り当て ↑

追加 削除

<input type="checkbox"/> サイト	デバイス数	割り当てられた数量	インストール済み数量	相違
使用できる項目がありません。				

デバイス割り当て ↑

追加 削除

<input type="checkbox"/> マシン名	ログイン名	IPアドレス	サイト	部署	コストセンター	インストール済み数量	重複した割り当て
<input type="checkbox"/> DEXSP3		172.22.1.34				0	

1 - 1/1 5 ▼ 項目の表示

割り当てられていないインストール数: 0

ページには次のパネルが含まれます：

- ◆ **人口統計の割り当て**：人口統計タイプ（サイト、部署、コストセンター）別のライセンス割り当て数が、統計値ごとにデバイス数およびインストールされた数量とともに表示されます。このパネルは、人口統計の割り当てが有効の場合にのみ表示されます（[全般] タブ > [ライセンス割り当ての設定] パネル）。
- ◆ **デバイス割り当て**：ライセンスが割り当てられているデバイスのリストと、デバイス、マシン名、ログイン名などの詳細が表示されます。割り当てのない製品のインストール数も表示されます。数字をクリックすると、[デバイス：割り当てられていないインストール数] パネルが表示されます。[重複した割り当て] カラムには、デバイスが統計タイプに割り当てられているかどうかが表示されます。

5.2 購入記録とのライセンス製品の調整

コンプライアンスレポートを実行するには、ライセンス製品を作成し、ライセンスコンプライアンスを監視してレポートを生成する必要があります。ライセンス製品を作成したら、管理ゾーン内の検出された製品とライセンス製品を調整して、コンプライアンスの計算に使用できます。

ライセンス製品を作成して検出された製品と調整するには、次の手順に従います。

- 1 デフォルトの設定で管理ゾーンのインベントリスキャンを実行します。
インベントリスキャンの実行方法については、『[アセットインベントリリファレンス \(http://www.novell.com/documentation/zam10/\)](http://www.novell.com/documentation/zam10/)』を参照してください。
- 2 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 3 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▼ 移動... 削除 アクション ▼						
<input type="checkbox"/> 名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2	🟡	☑	☑	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2	🟢	☑		1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43	🔴	☑	☑	1	0	

1 - 3/3 25 ▼ 項目の表示

- 4 [ライセンスされた製品] パネルで、[アクション] > [自動調整済み：ライセンス製品の作成] の順にクリックして、自動調整ウィザードを起動します。次の表の情報をを使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[検出された製品フィルタ] ページ	調整する検出された製品を選択します。[任意] を選択して、検出された製品すべてと調整するか、または [次に指定した製品] を選択し、製造元と製品名を指定して特定の製品を調整します。
[作成するライセンスされた製品を選択します] ページ	作成するライセンス製品および含める検出された製品を選択します。カタログ製品のリストが表示されている場合は、含めるカタログ製品を選択します。
[宛先フォルダ] ページ	新しいライセンス製品を配置するライセンスされた製品のフォルダ階層の場所を指定できます。 フィールドのデフォルト値は現在のフォルダです (自動調整ウィザードを起動したフォルダ)。別のフォルダを指定するには、  をクリックしてフォルダを参照して選択します。既存のフォルダを指定します。選択ダイアログボックスを使用して新規フォルダを作成することはできません。
[ライセンスエンタイトルメント] ページ	ライセンスエンタイトルメントの説明を追加します。 次のライセンスモデルのいずれかを選択します。 インストールごと : ソフトウェアはインストールごとにライセンスされています。 OEM : ソフトウェアは OEM パッケージの一部としてライセンスされています。 マシン : ソフトウェアがマシンごとにライセンスされます。
[自動調整作成サマリ] ページ	データを確認します。

- 5 [終了] をクリックしてライセンス製品を作成し、関連付けられている検出された製品およびカタログ製品と調整します。

これでライセンスのコンプライアンスをチェックできます。詳細については、[55 ページ](#) の第 6 章「[ライセンス管理レポートの使用](#)」を参照してください。

5.3 手動でのライセンス製品の作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
 Microsoft .NET Framework 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
 Mozilla.org Firefox 2		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	1	
 Sun Java2 Runtime Environment 23e43		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

- 3 [新規] > [ライセンスされた製品] の順にクリックして、ライセンスされた新規製品の作成ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[一般情報] ページ	<p>次のフィールドに必要な事項を入力します。</p> <p>製造元：ライセンス製品の製造元。</p> <p>ライセンス製品：製品の名前。</p> <p>バージョン：製品のバージョン。</p> <p>メモ：メモがあれば追加します。</p> <p>管理者定義のフィールド：管理者定義のフィールドがあれば、値を指定します。</p>
[ライセンスされた新規製品のサマリ] ページ	データを確認します。

- (オプション) ライセンスをさらに詳しく定義する場合は、[追加プロパティを定義] を選択します。
- [終了] をクリックします。
[追加プロパティを定義] を選択した場合は、47 ページのセクション 5.3.1 「ライセンスエンタイトルメントの作成」に進みます。

5.3.1 ライセンスエンタイトルメントの作成

- 47 ページのステップ 5 から操作を続けていて、[追加プロパティを定義] を選択した場合は、この手順のステップ 6 までスキップします。
- ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- [ライセンス管理] パネルで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/> 名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2	🟡	☑	☑	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2	🟢	☑		1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43	🔴	☑	☑	1	0	

- エンタイトルメントを作成する製品をクリックします。
- [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般							
ライセンスの検索							
コンプライアンスステータス							
ライセンス割り当て							
権限(使用データベース: インベントリ)							
新規 削除							
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン
アップグレード先							
使用できる項目がありません。							
権限(使用データベース: 手動)							
新規 削除							
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード先
<input type="checkbox"/> ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	無制限	0	0	
合計:					0	0	

- 該当する [エンタイトルメント] パネル ([インベントリ] または [手動]) で [新規] をクリックして、新規エンタイトルメントの作成ウィザードを起動します。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[ライセンスモデル] ページ	ライセンスモデルを選択します。
[エンタイトルメントタイプ] ページ	次の中からエンタイトルメントタイプを選択します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ フルライセンス ◆ バージョンのアップグレード ([バージョンのアップグレード] を選択した場合、アップグレード元のエンタイトルメントを特定する必要があります。) ◆ ライセンス / 保守
[一般情報] ページ	次のフィールドに入力します。 説明: エンタイトルメントの説明。 プラットフォーム: リストからプラットフォームを選択します。 ライセンス期間: [永久] または [期間] からライセンス期間を選択します。 [期間] を選択した場合は、カレンダーアイコンを使用して、開始日と終了日を選択します。 使用数量: 使用しているライセンスの数を指定します (使用データソースが手動のエンタイトルメントでのみ使用可能)。 仮想マシン使用権限: 仮想マシンの使用権利を指定します。 メモ: メモがあれば追加します。
[新規エンタイトルメントの概要] ページ	データを確認します。

7 (オプション)エンタイトルメントをさらに詳しく定義する場合は、[追加プロパティを定義] を選択します。

8 [終了] をクリックします。

[追加プロパティを定義] を選択した場合は、[48 ページのセクション 5.4 「ライセンスエンタイトルメントの定義」](#)に進みます。

5.4 ライセンスエンタイトルメントの定義

1 [48 ページのステップ 8](#) から操作を続けていて、[追加プロパティを定義] を選択した場合は、この手順の[ステップ 7](#)までスキップします。

2 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。

3 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンスされた製品] をクリックします。

ライセンスされた製品						
新規 ▾ 移動... 削除 アクション ▾						
<input type="checkbox"/> 名前	ステータス	検出された製品	カタログ製品	ライセンス数量	割り当てられた数量	
<input type="checkbox"/> Microsoft .NET Framework 2	⚠	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	5	1	
<input type="checkbox"/> Mozilla.org Firefox 2	⊕	<input checked="" type="checkbox"/>		1	1	
<input type="checkbox"/> Sun Java2 Runtime Environment 23e43	⊗	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	1	0	

1 - 3/3 25 ▾ 項目の表示

4 エンタイトルメントを変更する製品をクリックします。

一般	ライセンスの確保	コンプライアンスステータス
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>一般</p> <p>製造元: ACME</p> <p>ライセンスされた製品: Jumble</p> <p>バージョン: 2</p> <p>メモ:</p> </div>		
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/>		

5 [ライセンスエンタイトルメント] タブをクリックします。

全般	ライセンスの確保	コンプライアンスステータス	ライセンス割り当て																								
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>権限(使用データベース: インベントリ)</p> <p>新規 削除</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><input type="checkbox"/> 説明</th> <th>タイプ</th> <th>ライセンス期間</th> <th>期間ライセンスステータス</th> <th>ライセンスモデル</th> <th>ライセンス数量</th> <th>使用可能な数量</th> <th>カバーされたバージョン</th> <th>アップグレード元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td colspan="9">使用できる項目がありません。</td> </tr> </tbody> </table> </div>				<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元	使用できる項目がありません。														
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	カバーされたバージョン	アップグレード元																			
使用できる項目がありません。																											
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>権限(使用データベース: 手動)</p> <p>新規 削除</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th><input type="checkbox"/> 説明</th> <th>タイプ</th> <th>ライセンス期間</th> <th>期間ライセンスステータス</th> <th>ライセンスモデル</th> <th>ライセンス数量</th> <th>使用可能な数量</th> <th>アップグレード元</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ACME</td> <td>フルライセンス</td> <td>永久</td> <td>アクティブ</td> <td>無制限</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="5">合計:</td> <td>0</td> <td>0</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> </div>				<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元	ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	無制限	0	0		合計:					0	0	
<input type="checkbox"/> 説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンスモデル	ライセンス数量	使用可能な数量	アップグレード元																				
ACME	フルライセンス	永久	アクティブ	無制限	0	0																					
合計:					0	0																					

6 定義するエンタイトルメントをクリックします。

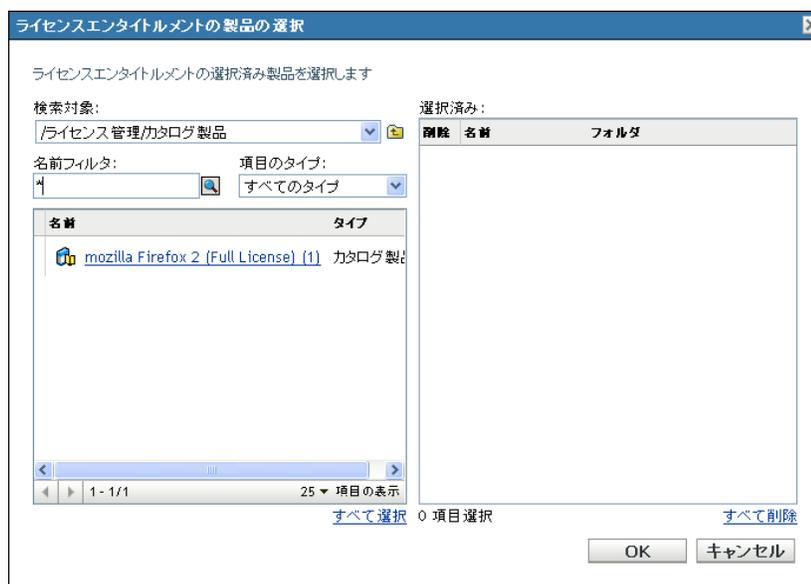
全般	所有権の証明	範囲
<div style="border: 1px solid gray; padding: 5px;"> <p>全般</p> <p>説明: *</p> <p>エンタイトルメントタイプ: フルライセンス</p> <p>プラットフォーム: * Windows</p> <p>ライセンス期間: <input checked="" type="radio"/> 永久 <input type="radio"/> 期間</p> <p>開始日: 09/05/27</p> <p>終了日: 09/05/27</p> <p>ライセンスモデル: インストールごと</p> <p>ライセンス数量: 8</p> <p>使用可能な数量: 8</p> <p>仮想マシン使用権限:</p> <p>メモ:</p> </div>		
<input type="button" value="適用"/> <input type="button" value="リセット"/>		

7 [所有権の証明] タブをクリックします。

一般		所有権の証明		転用	
カタログ製品					
<input type="checkbox"/>	製品名	購入数量	ライセンス数量		
<input type="checkbox"/>	ACME_Jumble 2 (Full License) (1)	2	2		
合計:		2	2		
購入概要レコード					
<input type="checkbox"/>	説明	入力日	入力者	ライセンス数量	総コスト
<input type="checkbox"/>	ACME_Purchase	08/07/21	administrator	2	
合計:				2	0.00
契約					
<input type="checkbox"/>	契約No	名前	タイプ	ステータス	開始日 終了日
使用できる項目がありません。					
ドキュメント					
<input type="checkbox"/>	ドキュメント名	ファイル名	添付日	ファイルタイプ	ファイルサイズ(Byte) 説明 添付者
使用できる項目がありません。					

8 カタログ製品を追加します。

8a [カタログ製品] パネルで、[追加] をクリックします。



8b [ライセンスエンタイトルメントの製品の選択] ダイアログボックスで、カタログ製品を選択します。

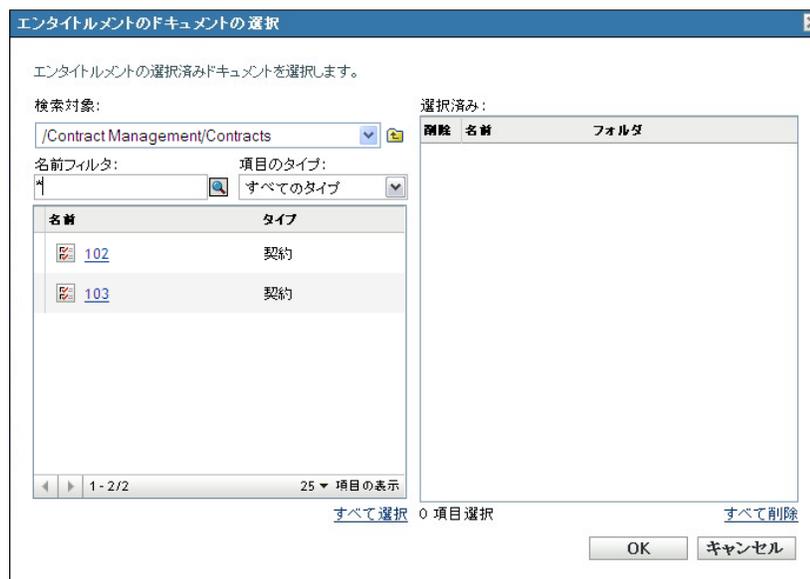
8c [OK] をクリックします。

9 購入概要レコードを追加します。

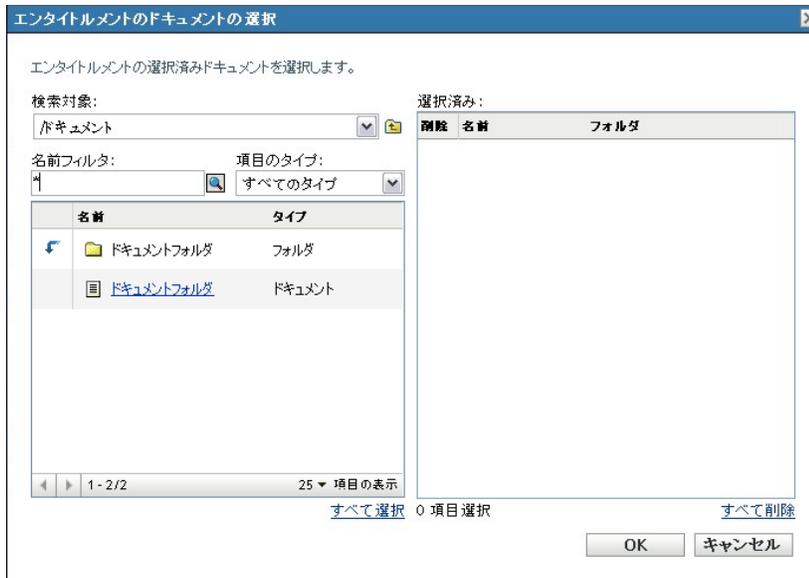
9a [新規] をクリックして、購入概要レコードの作成ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[一般情報] ページ	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p>説明: 概要レコードの説明。</p> <p>ライセンス数: ライセンス数。</p> <p>合計コスト: 製品ライセンスのコスト。</p> <p>メモ: メモがあれば追加します。</p>
[新規購入概要レコード] ページ	<p>データを確認します。[終了] をクリックした後に、概要レコードの編集、変更履歴の確認、または購入概要レコードへのドキュメントの添付を行う場合は、[追加プロパティを定義] を選択します。</p>

- 9b** 概要レコードに追加するドキュメントがあれば、[追加] をクリックしてドキュメントを選択し、[OK] をクリックします。
- 10** [所有権の証明] ページに戻り、**ステップ 2 ~ 49 ページのステップ 7**に従います。
- 11** 契約を追加します。
- 11a** [契約] パネルで、[追加] をクリックします。



- 11b** [エンタイトルメントのドキュメントの選択] ダイアログボックスで契約を指定し、[OK] をクリックします。
- 12** ドキュメントを追加します。
- 12a** [ドキュメント] パネルで、[追加] をクリックします。



12b [エンタイトルメントのドキュメントの選択] ダイアログボックスでドキュメントを指定し、[OK] をクリックします。

13 [範囲] タブをクリックします。



14 このエンタイトルメントでカバーされる検出された製品バージョンを追加します。

14a 次のいずれかをクリックします。

- ◆ [追加] > [インストール済みの検出された製品]
- ◆ [追加] > [任意の検出された製品]

14b ライセンスエンタイトルメントでカバーされる製品を選択します。

14c [OK] をクリックします。

5.5 コンプライアンスの更新ステータス

コンプライアンスデータを更新すると、検出された製品すべてのインストール数が再計算され、すべてのライセンスのコンプライアンスステータスが再計算されます。

- ◆ 53 ページのセクション 5.5.1 「更新のトリガ」
- ◆ 53 ページのセクション 5.5.2 「更新の詳細を表示」

5.5.1 更新のトリガ

コンプライアンスデータはさまざまな状況下で更新されます。手動で更新をトリガするには、[ライセンスされた製品] ページまたは [検出された製品] ページで、[アクション] > [コンプライアンスステータスの更新] の順にクリックします。購入記録をインポートすると自動的に更新がトリガされますが、ライセンス製品の自動調整を実行しても自動更新はトリガされません。

1 個のライセンスの更新は、次の状況下で自動的にトリガされます。

- ◆ エンタイトルメントの作成または削除
- ◆ エンタイトルメントに購入概要を追加
- ◆ ライセンスにカタログ製品を追加
- ◆ ライセンスに関連付けられたカタログ製品の変更
- ◆ ライセンスに検出された製品を追加
- ◆ ライセンスに関連付けられた検出された製品の変更
- ◆ 検出された製品のインストール (ライセンスに関連付け) を無視としてマークする
- ◆ ライセンスに関連付けられている購入記録を削除
- ◆ ライセンスに関連付けられているソフトウェアコレクションを削除

5.5.2 更新の詳細を表示

[ライセンスされた製品] ページおよび [検出された製品] ページの両方のメニューバーで最新の更新情報を参照できます。この情報には、次の内容が含まれています。

- ◆ コンプライアンスの更新が最後に開始または終了した日時
- ◆ 更新を起動した事象
- ◆ すべての製品の更新または単一製品の更新かどうか

[ライセンスされた製品] ページの [コンプライアンスステータス] タブにはライセンスが最後に更新された日時も表示されます。また、[ライセンス管理レポート] > [ソフトウェアコンプライアンス] > [コンプライアンスレポート] の順にクリックすると、あるライセンスがすべてのライセンスの最終フルリフレッシュより最近に更新されているかどうかを示す [最近の再計算] と呼ばれるカラムが表示されます。

ライセンス管理レポートの使用

ZENworks® コントロールセンターには、管理ゾーン内のアセットを管理する際に役立つさまざまなレポートが付属しています。[ライセンス管理レポート] ページを使用すると、さまざまな標準レポートとカスタムレポートを使って、コンプライアンスおよびコンプライアンス関連データを監視できます。

- ◆ 55 ページのセクション 6.1 「ライセンス管理の標準レポートの使用」
- ◆ 60 ページのセクション 6.2 「ライセンス管理のカスタムレポートの使用」
- ◆ 70 ページのセクション 6.3 「ZENworks Asset Management のレポート権限の設定」
- ◆ 71 ページのセクション 6.4 「レポートからのソフトウェア使用状況データの除外」

ZENworks レポートングサーバをインストールしている場合は、追加の Asset Management レポートにアクセスできます。詳細については、73 ページの第 7 章「レポートングサーバのレポートの使用」を参照してください。

6.1 ライセンス管理の標準レポートの使用

標準 (事前定義済み) レポートは、ソフトウェア使用状況データをスキャンし、レポート環境設定に従ってデータを整理します。

- ◆ 55 ページのセクション 6.1.1 「利用可能な標準レポート」
- ◆ 56 ページのセクション 6.1.2 「標準レポートの実行」

6.1.1 利用可能な標準レポート

ZENworks コントロールセンターには、多くの事前定義済みレポートが付属しており、管理ゾーンにおけるソフトウェアコンプライアンスを分析する場合に使用できます。これらのレポートは機能別にグループ分けされます。利用可能なレポートは次のとおりです。

- ◆ **ソフトウェアコンプライアンス**：ソフトウェアコンプライアンスにフォーカスしたレポート。
 - ◆ **コンプライアンスレポート**：管理ゾーンのコンプライアンスステータスがライセンスごとに表示されます。
 - ◆ **ステータスサマリ**：管理ゾーンのコンプライアンスステータスの概要が表示されます。
- ◆ **未調整の製品**：未調整の製品にフォーカスしたレポート。
 - ◆ **カタログ製品**：管理ゾーン内にある未調整のカタログ製品が表示されます。
 - ◆ **検出された製品**：管理ゾーン内にある未調整の検出された製品が表示されます。
- ◆ **購入**：ソフトウェアの購入数にフォーカスしたレポート。
 - ◆ **購入の概要**：購入記録の概要リストが表示されます。
 - ◆ **購入の詳細**：購入記録と詳細のリストが表示されます。

- ◆ **スイート** : スイートおよびコンポーネントにフォーカスしたレポート。
 - ◆ **スイート/コンポーネント** : 検出されたスイートおよびそれらのコンポーネントが表示されます。
 - ◆ **スタンドアロンコンポーネント** : 検出されたスタンドアロン (スイート) コンポーネントのリストが表示されます。
- ◆ **その他のレポート** : インベントリの比較およびソフトウェアの標準にフォーカスしたレポート。
 - ◆ **インベントリの比較** : インベントリされた製品と検出された製品の比較が表示されます。
 - ◆ **ソフトウェアの標準** : 検出された製品と、それらの標準カテゴリが表示されます。

6.1.2 標準レポートの実行

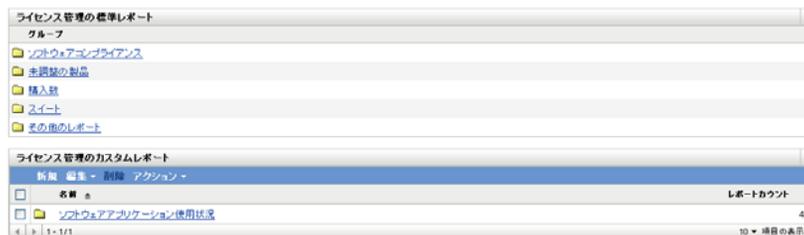
標準レポートはクリックして実行します。ZENworks Asset Management では、データを別の形式にエクスポートしたり、データをグラフで表示したり、レポートの期間を変更したり、フィルタ基準を変更したりすることができます。次の各セクションで、詳細について説明します。

- ◆ [56 ページの「レポートの実行」](#)
- ◆ [57 ページの「異なる形式へのレポートのエクスポート」](#)
- ◆ [57 ページの「レポートのグラフ表示」](#)
- ◆ [58 ページの「期間の変更」](#)
- ◆ [59 ページの「フィルタ基準の変更」](#)

レポートの実行

ライセンス管理の標準レポートの多くは、ソフトウェア製品に関連する使用状況データを含んでいます。このデータが必要なければ、このデータを除外してレポートの生成を高速化できます。詳細については、[71 ページのセクション 6.4「レポートからのソフトウェア使用状況データの除外」](#)を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。

レポート	説明
コンプライアンスレポート	ライセンス別コンプライアンスステータス
エラータラシ	ライセンスコンプライアンスステータスの概要

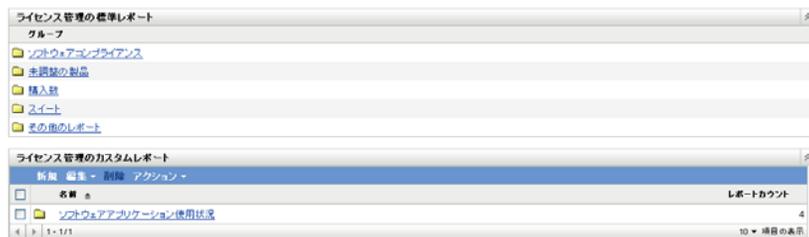
レポートは名前および説明によってリストされます。レポートのリストおよび説明の詳細については、[55 ページのセクション 6.1.1 「利用可能な標準レポート」](#) を参照してください。

- 4 レポートをクリックして実行します。
- 5 (オプション) 左側のパネルからフィルタリング条件を選択し、[検索] をクリックして、データをフィルタします。
- 6 リンクをクリックして、より詳しい情報を表示します。

異なる形式へのレポートのエクスポート

ZENworks Asset Management では、レポートデータを Excel*、CSV、および PDF の 3 つの形式にエクスポートできます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。

レポート	説明
コンプライアンスレポート	ライセンス別コンプライアンスステータス
ステータスリザリ	ライセンスコンプライアンスステータスの概要

- 4 レポートをクリックして実行します。
- 5 レポートの下部にある 3 つの形式の 1 つをクリックして、レポートをエクスポートします。

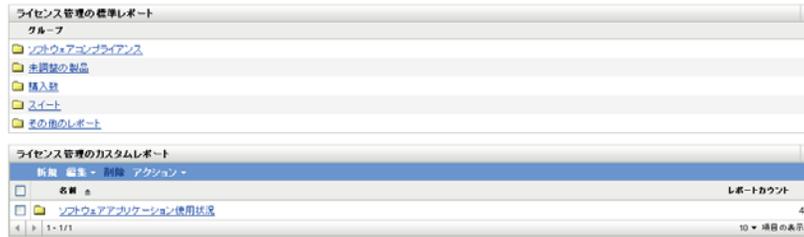
Sun	Microsystems	2.2	🚫	インベントリ
	OpenOffice.org			
VMware	VMware Tools	-	🔍	インベントリ
Yahoo!	Yahoo! Companion Toolbar	-	🚫	インベントリ

[Excel](#) [CSV](#) [PDF](#) [グラフ](#) [期間の変更](#)

レポートのグラフ表示

多くのレポートはグラフとして表示できます。棒グラフ、円グラフ、および線グラフの 3 つのグラフ形式を利用できます (グラフ機能が利用可能な場合は、レポートの下部に [グラフ] と表示されます)。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 レポートをクリックして実行します。
- 5 グラフの下部にある [グラフ] をクリックします。

Sun	Microsystems OpenOffice.org	2.2	インベントリ
VMware	VMware Tools	-	インベントリ
Yahoo!	Yahoo! Companion Toolbar	-	インベントリ

[Excel](#) [CSV](#) [PDF](#) [グラフ](#) [期間の変更](#)

新しいウィンドウが表示され、利用可能なグラフが表示されます。

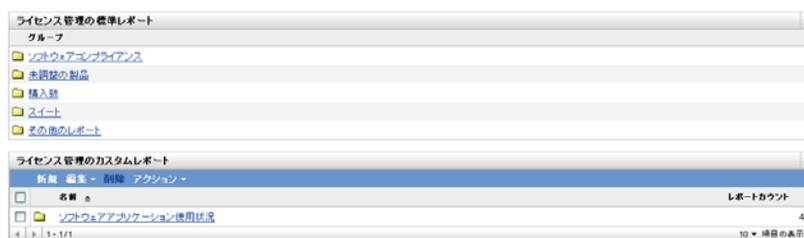
期間の変更

より柔軟なレポートのために、一部のレポートでは期間を変更できます (この機能が利用可能な場合は、レポートの下部に [期間の変更] と表示されます)。次の期間の中から選択できます。

- ◆ 先月
- ◆ 直前 3ヶ月
- ◆ 直前 6ヶ月
- ◆ 直前 12ヶ月
- ◆ データベース内のすべての履歴

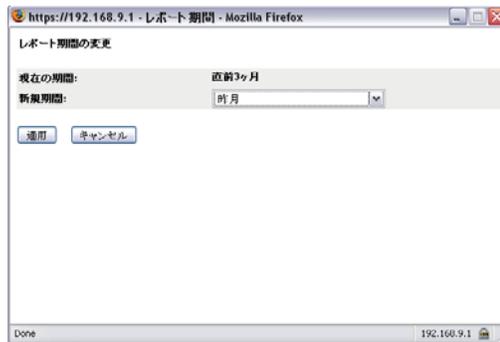
期間を変更するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 レポートをクリックして実行します。

- 5 [期間の変更] をクリックします。



- 6 [新規期間] フィールドで期間を選択します。

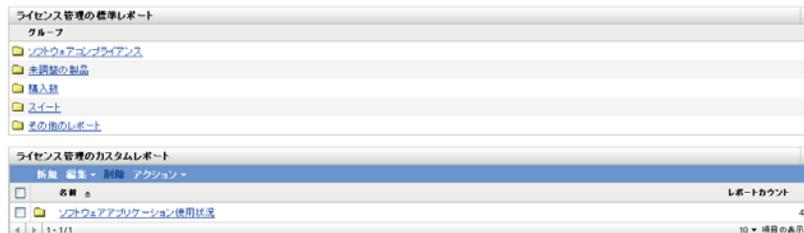
- 7 [適用] をクリックします。

レポートが再実行され、新しい期間がレポートの左上に表示されます。

フィルタ基準の変更

多くのレポートでは、レポートのフィルタ基準を変更できます (この機能が利用可能な場合は、レポートの下部に [フィルタの変更] と表示されます)。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 レポートをクリックして実行します。
- 5 レポートの下部にある [フィルタの変更] をクリックします。
- 6 次のいずれかのフィルタを選択します。
 - ◆ 使用アプリケーションのみ
 - ◆ 未使用アプリケーションのみ
 - ◆ すべてのアプリケーション
- 7 [適用] をクリックします。

6.2 ライセンス管理のカスタムレポートの使用

ZENworks コントロールセンターでは、カスタムレポートを作成および実行して、管理ゾーンのソフトウェアコンプライアンスを分析するために使用できます。詳細は次を参照してください。

- ◆ 60 ページのセクション 6.2.1 「カスタムレポートのサンプル」
- ◆ 60 ページのセクション 6.2.2 「カスタムレポートの実行」
- ◆ 61 ページのセクション 6.2.3 「カスタムレポートの作成」
- ◆ 63 ページのセクション 6.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」
- ◆ 65 ページのセクション 6.2.5 「通知を送信する電子メールアドレスの設定」
- ◆ 66 ページのセクション 6.2.6 「カスタムレポートの編集」
- ◆ 67 ページのセクション 6.2.7 「カスタムレポートの移動」
- ◆ 68 ページのセクション 6.2.8 「カスタムレポートまたはフォルダの削除」
- ◆ 69 ページのセクション 6.2.9 「日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示」
- ◆ 70 ページのセクション 6.2.10 「新しいレポート定義のインポート」

6.2.1 カスタムレポートのサンプル

ZENworks Asset Management には 4 種類のサンプルカスタムレポートがあり、作成できる異なるレポートタイプを示しています。

- ◆ **除外カタログ製品**：ライセンスコンプライアンスの計算から除外されているカタログ製品が表示されます。
- ◆ **除外された検出製品**：ライセンスコンプライアンスの計算から除外されている検出された製品が表示されます。
- ◆ **非適合のライセンスレコード**：非準拠のライセンスレコードが表示されます。
- ◆ **未調整の検出された製品**：ライセンス製品と調整されていない検出された製品が表示されます。

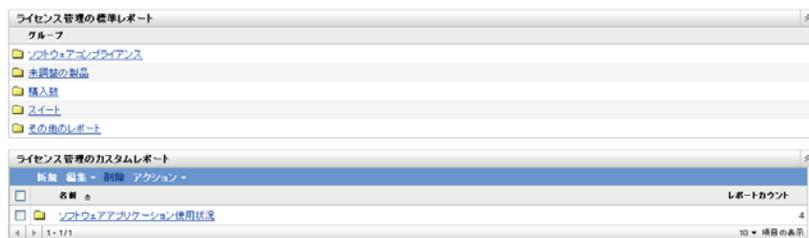
サンプルカスタムレポートの内、1 つの実行方法について、60 ページのセクション 6.2.2 「カスタムレポートの実行」を参照してください。

独自のカスタムレポートの作成方法については、61 ページのセクション 6.2.3 「カスタムレポートの作成」を参照してください。

6.2.2 カスタムレポートの実行

カスタムレポートにはソフトウェア製品に関連付けられた使用状況データが記載され、使用状況データが必要なければ、このデータを除外してレポートの生成を高速化できます。詳細については、71 ページのセクション 6.4 「レポートからのソフトウェア使用状況データの除外」を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。

各フォルダ内のレポートの数が [レポートカウント] カラムに表示されます。

4 レポートをクリックします。

カスタムレポート定義サマリ: 除外カタログ製品

説明	コンプライアンス計算から除外されたカタログ製品を一覧表示します
タイプ	ProductCatalog
カラム	カタログ製造元 カタログ製品 カタログバージョン カタログタイプ カタログ製造部品番号 カタログライセンス数
基準	除外カタログ = はい
作成者	
作成日	08/07/30
前回実行日	08/07/31

[実行](#) [スケジュール/通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

レポート定義が表示されます。レポート定義の編集の詳細については、66 ページのセクション 6.2.6 「カスタムレポートの編集」 を参照してください。

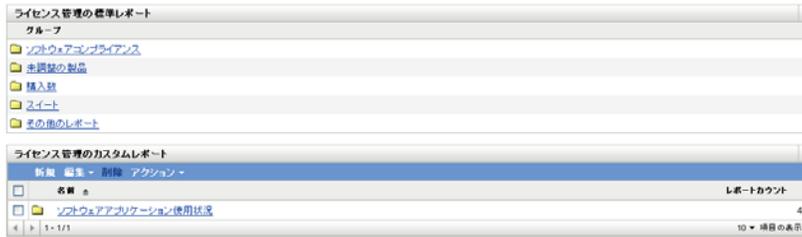
5 左隅の [実行] をクリックします。

[レポート] ページで、レポートのさまざまなリンクをクリックして追加情報を表示します。対応するリンクをクリックすると、レポートを Excel、CSV、または PDF 形式でエクスポートすることもできます。

6.2.3 カスタムレポートの作成

1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。

2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、レポートを保存するフォルダをクリックするか、または [新規] をクリックしてフォルダ名を指定し、[OK] をクリックして新しいフォルダを作成します。



- 4 [カスタムレポート] パネルで、[新規] をクリックします。



- 5 [名前] フィールドで名前を指定します。
- 6 レポートのフォーカスを選択します。オプションは次のとおりです。
- ◆ 購入レコード
 - ◆ カタログ製品
 - ◆ ライセンスレコード
 - ◆ 検出された製品
 - ◆ コンプライアンスステータス
 - ◆ ソフトウェア標準
 - ◆ ライセンス - 関連付けられた契約
- 7 [続行] をクリックします。

カスタムレポート定義 - ステップ2/2: カラム、カラム順序、および条件の選択

名前: 説明:

フォルダ: ソフトウェアアプリケーション使用状況

タイプ: 購買記録

カラム	使用可能	使用可能	カラム順序
	<ul style="list-style-type: none"> カカロンの説明 カカログアップグレード カカログメモ カカログライセンス数 カカログ製造品番号 カカログ販売店ID 一連するカカログ 購入ユニットセンター 購入ユニット 購入サイト 	<ul style="list-style-type: none"> 購入のID番号 購入請求書番号 購入販売店 注文書ID カカログ製造元 カカログ製造 カカログバージョン カカログタイプ 購入数量 購入ユニットMSRP 	

基準: フィールド オペレータ 値

サマリ条件: サマリフィールド オペレータ 値

8 次のフィールドに入力します。

名前: **ステップ 5** で入力した名前が表示されます。ID は、必要に応じて変更できます。

フォルダ: **ステップ 3** で選択したフォルダが表示されます。ID は、必要に応じて変更できます。

説明: レポートの説明を指定します。

タイプ: 選択したレポートタイプが表示されます。

列: 左側にあるリストからレポートに含めるデータを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したデータを右側のリストに移動します。複数のオプションを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上下アイコンを使用してデータの表示方法を配列します。

基準: ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

サマリ条件: サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

9 [保存] をクリックします。

次回 [カスタムページ] を開くと、[カスタムレポート] パネルにレポートが表示されます。

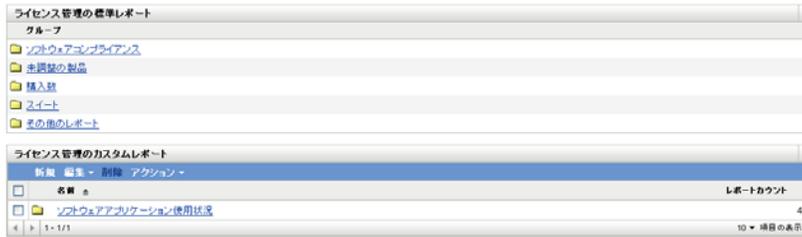
6.2.4 カスタムレポートのスケジュールと通知の送信

レポートを自動的に実行して、レポートが準備できたら指定したユーザに通知を送信するようにスケジュールすることができます。

電子メール通知を送信する場合は、SMTP 電子メールサーバを前もって定義しておく必要があります。これは [SMTP 設定] オプション ([環境設定] タブ > [管理ゾーンの設定] パネル > [イベントとメッセージング] > [SMTP 設定]) で実行されます。

1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。

2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、スケジュールするレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 スケジュール設定したいレポートをクリックします。

カスタムレポート定義サマリ: 除外カタログ製品

説明	コンプライアンス計算から除外されたカタログ製品を一覧表示します
タイプ	ProductCatalog
カラム	カタログ製造元 カタログ製品 カタログバージョン カタログタイプ カタログ製造部品番号 カタログライセンス数
基準	除外カタログ = はい
作成者	
作成日	08/07/30
前回実行日	08/07/31

[実行](#) [スケジュール/通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

- 5 [スケジュール/通知] をクリックします。

スケジュールレポート/通知: 未調整の検出された製品

開始日:

頻度: ▼

出力: 保存されたレポートの結果
 通知(電子メール)の送信
 両方
 一致するレコードが見つかった場合にのみ通知を送信/結果を保存します

最大レコード:

- 6 次のフィールドに入力します:

開始日: カレンダーアイコンをクリックして、日付を指定します。

頻度: 通知を送信する頻度を選択します。年、月、週、日、一度、またはなし。

出力: レポートを保存するか、レポートの準備ができたことを知らせる電子メール通知を送信するか、または両方を選択します。結果を保存するか、または一致したレコードが検出されたときにのみ通知を送信するかを選択することもできます。電子メールアドレスの設定の詳細については、[65 ページのセクション 6.2.5 「通知を送信する電子メールアドレスの設定」](#) を参照してください。

最大レコード: 保存するレコードの最大数を指定します。

7 [送信] をクリックします。

レポートはスケジュールした時間に実行されます。

6.2.5 通知を送信する電子メールアドレスの設定

カスタムレポートが実行されたときに選択したユーザに通知を送信できます。これを行うには、通知先の電子メールアドレスを ZENworks コントロールセンターにインポートする必要があります。通知の送信の詳細については、[63 ページのセクション 6.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」](#) を参照してください。

[アセットインベントリ] ページの [電子メールアドレス] パネルでは、電子メールアドレスをインポートできます。これらのアドレスを使用して、レポート定義の設定に従って、カスタムレポートの準備ができたなら通知を送信できます。以前にインポートした電子メールアドレスは、ユーザの名前と一緒にパネルにリストが表示されています。

電子メールアドレスをインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [電子メールアドレス] パネルで、[アクション] > [電子メールアドレスの管理] をクリックします。

電子メールアドレスの管理



- 4 [インポート元] フィールドで、[インベントリデータ] または [カンマ区切りファイル] のいずれかを選択します。
[インベントリデータ] を選択した場合は、インベントリスキャンで検出された電子メールアドレスがインポートされます。
[カンマ区切りファイル] を選択した場合は、[電子メールアドレスファイル] フィールドにファイルの場所を指定します。
- 5 [インポート] をクリックします。
- 6 [閉じる] をクリックします。

すべての電子メール情報を削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [電子メールアドレス] パネルで、[アクション] > [電子メールアドレスの管理] をクリックします。

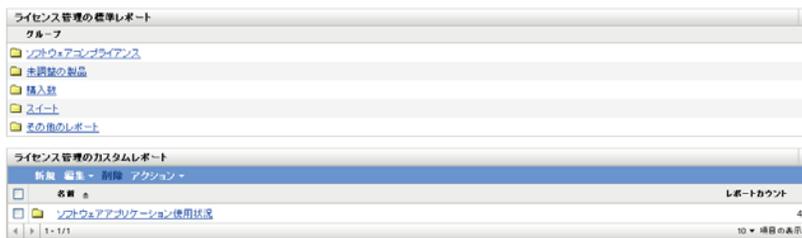
電子メールアドレスの管理

インポート元 インベントリデータ ▼

- 4 [削除] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックします。
すべての電子メール情報が削除されます。

6.2.6 カスタムレポートの編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



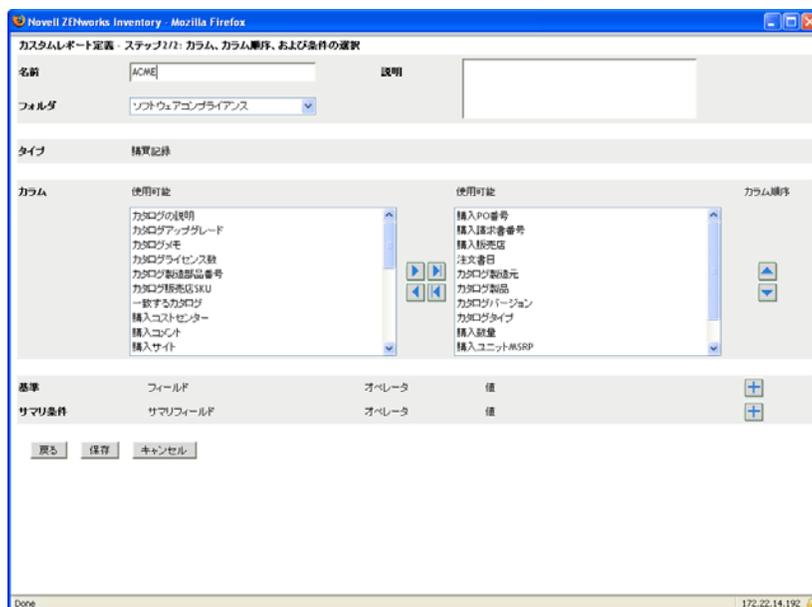
- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、編集するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 レポートをクリックします。

カスタムレポート定義サマリ: 除外カタログ製品

説明	コンプライアンス計算から除外されたカタログ製品を一覧表示します
タイプ	ProductCatalog
カラム	カタログ製造元 カタログ製品 カタログバージョン カタログタイプ カタログ製造部品番号 カタログライセンス数
基準	除外カタログ = はい
作成者	
作成日	08/07/30
前回実行日	08/07/31

[実行](#) [スケジュール/通知](#) [編集](#) [コピー](#) [エクスポート](#)

- 5 左隅の [編集] をクリックします。



6 次のフィールドを編集します。

名前: レポートの名前。

フォルダ: レポートを保存するフォルダ。

説明: レポートの説明。

列: 左側にあるリストからレポートに含めるデータを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したデータを右側のリストに移動します。複数のオプションを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上下アイコンを使用してデータの表示方法を配列します。

基準: ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

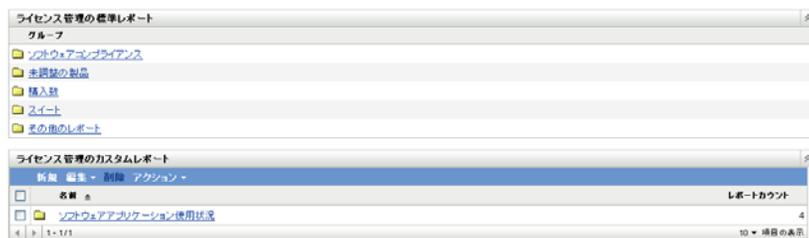
サマリ条件: サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

7 [保存] をクリックします。

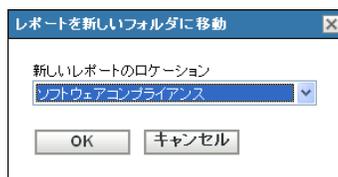
6.2.7 カスタムレポートの移動

1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。

2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、移動するレポートが1つ以上含まれるフォルダをクリックします。
- 4 移動するレポートを選択します。
- 5 [編集] > [移動] の順にクリックします。

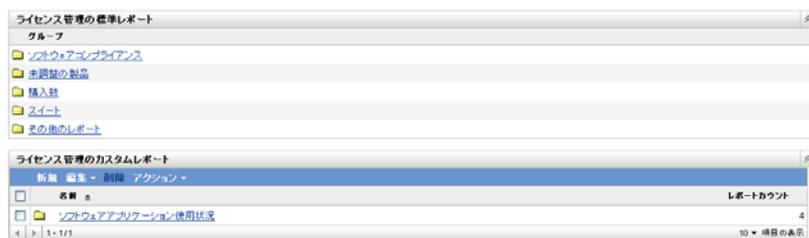


- 6 新しいフォルダの場所を選択します。
- 7 [OK] をクリックします。

6.2.8 カスタムレポートまたはフォルダの削除

カスタムレポートを削除するには、次の手順に従います。

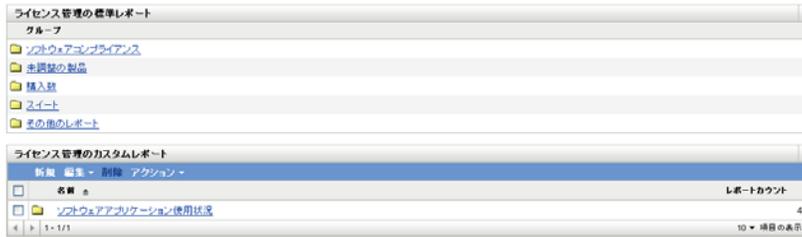
- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、削除するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 削除するレポートを選択します。
- 5 [削除] をクリックします。

フォルダ (およびそのフォルダ内のすべてのレポート) を削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。

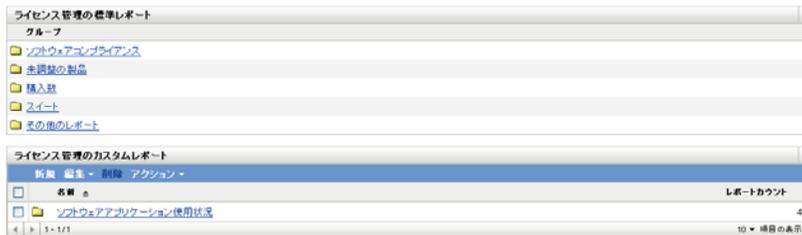


- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、削除するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 [削除] をクリックします。

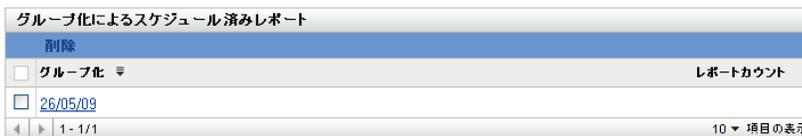
6.2.9 日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示

スケジュールごとに実行されるレポートはデータベースに保存されます。これらのレポートはタイトルまたは日付で参照できます。レポートのスケジュール設定の詳細については、63 ページのセクション 6.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、次のいずれか 1 つをクリックします。
 - ◆ [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果を日付ごとに表示]
 - ◆ [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果をタイトルごとに表示]



[グループごとのスケジュール済みレポート] ページが開き、日付またはタイトルでグループ化された保存済みのスケジュール済みカスタムレポートとレポート件数が表示されます。日付またはタイトルをクリックして、レポートの選択や表示ができる [スケジュール済みレポート] ページを開きます。レポートのグループを削除するには、グループを選択して [削除] をクリックします。

6.2.10 新しいレポート定義のインポート

レポートを ZENworks Asset Management 7.5 で定義した場合は、ZENworks コントロールセンターにインポートできます。ZENworks コントロールセンターによってエクスポートされたレポートを再インポートすることもできます。インポートには、事前定義した XML 形式が必要です。

レポート定義をインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ライセンス管理レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理のカスタムレポート] パネルで、[アクション] > [新規レポート定義のインポート] の順にクリックします。

カスタムレポート定義のインポート

クエリインポートファイル:

- 4 [クエリインポートファイル] フィールドでファイルを指定するか、または [ブラウズ] をクリックしてファイルを検索して選択します。
- 5 [インポート] をクリックします。

6.3 ZENworks Asset Management のレポート権限の設定

ZENworks Asset Management のレポート権限を使用することで、各フォルダとそれに含まれるレポートに対する各管理者の権限を管理できます。各レポートフォルダには、フォルダに関連する権限が設定されており、この権限はフォルダ内すべてのレポートに適用されます。たとえば、全権限を持つユーザは、レポートを編集ができますが、表示 / 実行権限を持つユーザは、レポートの表示および実行のみできます。ZENworks Asset Management のレポート権限を使用して、特定のレポートへのアクセス権や編集権を制限できます。カスタムまたは標準のレポートフォルダタイプ、およびレポート名がフォルダに関連する権限と共にリストが表示されます。次の選択肢があります。

- ◆ **すべての権限の削除** : フォルダに関するすべての権限が削除され、特定の管理者はフォルダを表示できなくなります。
- ◆ **権限の表示 / 実行の割り当て** : 特定の管理者は特定のフォルダ内のレポートを表示および実行できますが、フォルダ内のレポートの編集、移動、または削除はできません。

- ◆ **全権限の割り当て** : レポートを作成、編集、移動、および削除する全権限が特定の管理者に与えられます。標準レポートに関しては、レポートの変更ができませんので、この設定は [表示/実行] と同じになります。

インベントリレポート権限を変更するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理者] パネルで管理者をクリックします。
- 3 [管理者タスク] パネルで、[アセット管理レポート権限] をクリックします。

フォルダタイプ	フォルダ名	ソース	権限
<input type="checkbox"/>	カスタムレポート	Software Application Usage	使用状況
<input type="checkbox"/>	カスタムレポート	Software Compliance	ライセンス管理
<input type="checkbox"/>	カスタムレポート	091	ライセンス管理
<input type="checkbox"/>	カスタムレポート	Contract Management	契約管理
<input type="checkbox"/>	標準レポート	すべての使用状況	使用状況
<input type="checkbox"/>	標準レポート	アプリケーション使用状況	使用状況
<input type="checkbox"/>	標準レポート	契約管理	契約管理
<input type="checkbox"/>	標準レポート	ネットワークソフトウェア使用状況	使用状況
<input type="checkbox"/>	標準レポート	その他のレポート	ライセンス管理
<input type="checkbox"/>	標準レポート	購入数	ライセンス管理
<input type="checkbox"/>	標準レポート	ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス管理
<input type="checkbox"/>	標準レポート	ソフトウェアファイル使用状況	使用状況
<input type="checkbox"/>	標準レポート	スイート	ライセンス管理
<input type="checkbox"/>	標準レポート	未調整の製品	ライセンス管理
<input type="checkbox"/>	標準レポート	Webアプリケーション使用状況	使用状況

- 4 権限を変更するフォルダを選択します。
- 5 次のいずれかをクリックします。
 - ◆ [編集] > [すべての権限を削除]
 - ◆ [編集] > [権限の表示/実行の割り当て]
 - ◆ [編集] > [全権限の割り当て]

変更内容は [権限] カラムに反映されます。

6.4 レポートからのソフトウェア使用状況データの除外

ライセンス管理のレポートの多くは、ソフトウェア製品に関連する使用状況データを含んでいます。このデータが必要なければ、このデータを除外してレポートの生成を高速化できます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理ゾーンの設定] パネルで、[アセット管理] をクリックし、次に [レポート] をクリックします。



- 3 [ライセンス管理レポートに使用状況を表示しません] オプションを選択します。
- 4 [OK] をクリックし、設定を保存します。

レポートिंगサーバのレポートの使用

ZENworks コントロールセンターの [アセット管理] タブから、ソフトウェア使用状況レポート、ライセンス管理レポート、契約管理レポートを作成、生成できますが、この他にも、ZENworks レポートングサーバを使用して追加レポートを生成することができます。

ZENworks レポートングサーバは強力で柔軟な、カスタマイズ可能なレポートングツールで、ZENworks システムとは個別にインストールして設定されます (『ZENworks 10 Asset Management レポートングサーバインストールガイド』を参照)。

レポートングサーバを使用して、事前定義された Asset Management レポートを表示して、カスタムレポートを作成することができます。次のセクションでは、事前定義されたレポートとその表示方法を説明します。

- ◆ 73 ページのセクション 7.1 「定義済みレポート」
- ◆ 75 ページのセクション 7.2 「事前定義レポートの表示」

カスタムレポートの作成方法については、『ZENworks 10 Asset Management システムレポートングリファレンス』を参照してください。

7.1 定義済みレポート

定義済みの Asset Management レポートは、4 つのカテゴリに分類されます。

- ◆ 73 ページのセクション 7.1.1 「ライセンス割り当てレポート」
- ◆ 74 ページのセクション 7.1.2 「購入レポート」
- ◆ 74 ページのセクション 7.1.3 「ソフトウェアコンプライアンスレポート」
- ◆ 75 ページのセクション 7.1.4 「スイートレポート」

7.1.1 ライセンス割り当てレポート

レポートタイトル	説明
コストセンター別割り当てステータス	ライセンス製品をコストセンター別にグループ化し、ライセンス製品の割り当ての過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。
部署別割り当てステータス	ライセンス製品を部署別にグループ化し、ライセンス製品の割り当ての過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。
サイト別割り当てステータス	ライセンス製品をサイト別にグループ化し、ライセンス製品の割り当ての過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。

レポートタイトル	説明
割り当て数対インストール数	ライセンス製品について、割り当てられたライセンスとインストールの総数との差異を表示します。結果は、過剰に割り当てられたライセンスと割り当てが不足しているライセンスの数です。
現在の割り当て	各ライセンス製品について、ライセンスの総数と、割り当てられている数、割り当てられていない数を表示します。
人口統計的に割り当て過剰	統計的に割り当てられたライセンスの数が、統計に関連付けられたインストール数よりも多い、すべてのライセンス製品のリストを表示します。
人口統計的に割り当て不足	統計的に割り当てられたライセンスの数が統計に関連付けられたインストール数よりも少ない、すべてのライセンス製品のリストを表示します。
デバイスの割り当て過剰	デバイスに割り当てられたライセンスの数がデバイスに関連付けられたインストール数よりも少ない、すべてのライセンス製品のリストを表示します。
重複した割り当て	統計割り当てと重複するデバイス割り当てがあるライセンス製品すべてのリストを表示します。
割り当てられていないインストール数	統計またはデバイス割り当ての範囲ではない、インストールされた製品があるライセンス製品すべてのリストを表示します。

7.1.2 購入レポート

レポートタイトル	説明
購入記録詳細	PO 番号、販売者、製造元、価格など、すべての詳細が記載された、全購入記録のリストを表示します。
購入記録概要	購入記録をカタログ製品別にまとめます。各カタログ製品について、製品タイプ、購入数量、平均単価、合計価格のリストを表示します。

7.1.3 ソフトウェアコンプライアンスレポート

レポートタイトル	説明
コストセンター別ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス製品をコストセンター別にグループ化し、ライセンス製品のライセンスの過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。
部署コストセンター別ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス製品を部署別にグループ化し、ライセンス製品のライセンスの過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。
サイト別ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス製品をサイト別にグループ化し、ライセンス製品のライセンスの過剰 (インストール数よりもライセンス数が多い) または不足 (ライセンス数よりもインストール数が多い) を示します。

7.1.4 スイートレポート

レポートタイトル	説明
検出されたスタンドアロンコンポーネント	デバイスのインベントリスキャンで検出されたスイートの個々のコンポーネントのリストを表示します。各コンポーネントについて、インストール数と使用されている数のリストが表示されます。

7.2 事前定義レポートの表示

事前定義レポートを使用するには、ZENworks レポートニングサーバをインストールして設定しておく必要があります。詳細については、『ZENworks 10 Asset Management レポートニングサーバインストールガイド』を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[レポート] タブをクリックします。
- 2 [ZENworks レポートニングサーバ] パネルで、[ZENworks レポートニングサーバ InfoView] をクリックします。
InfoView は、ZENworks レポートニングサーバのレポートを操作するメインインタフェースです。
- 3 [ドキュメントリスト] をクリックします。
- 4 [すべて] > [パブリックフォルダ] > [Novell ZENworks レポート] > [事前定義されたレポート] > [アセット管理] > [ライセンス管理] フォルダに移動します。
Asset Management レポートは、ライセンスの割り当て、購入数、ソフトウェアコンプライアンス、スイートの4つのサブフォルダに分類されます。それぞれのレポートの簡単な説明については、73 ページのセクション 7.1 「定義済みレポート」を参照してください。
- 5 表示したいレポートを含むフォルダを開きます。
- 6 表示するレポートをダブルクリックします。

所有権の証明の設定

次の各セクションで、契約とドキュメントを使用して所有権の証明を指定する方法と、契約レポートの使用方法について説明します。

- ◆ 77 ページのセクション 8.1 「契約の追加」
- ◆ 79 ページのセクション 8.2 「契約の定義」
- ◆ 86 ページのセクション 8.3 「日付の通知の使用」
- ◆ 88 ページのセクション 8.4 「契約管理の標準レポートの使用」
- ◆ 90 ページのセクション 8.5 「契約管理のカスタムレポートの使用」
- ◆ 98 ページのセクション 8.6 「レポート権限の設定」
- ◆ 99 ページのセクション 8.7 「ドキュメントの追加と関連付け」

8.1 契約の追加

所有権の証明を設定する場合、契約とドキュメントを使用します。新しい契約を作成するか、既存の契約をコピーして、契約を追加できます。

- ◆ 77 ページのセクション 8.1.1 「新規契約の作成」
- ◆ 79 ページのセクション 8.1.2 「既存の契約のコピー」

8.1.1 新規契約の作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、**[Asset Management]** タブをクリックします。
- 2 **[契約管理]** タブをクリックします。

ソフトウェア使用状況	ライセンス管理	契約管理	ドキュメント
契約管理			
名前		タイプ	
📁 契約 [詳細]		フォルダ	
📁 日付の通知 [詳細]		フォルダ	
📁 契約管理レポート [詳細]		フォルダ	

- 3 **[契約]** をクリックします。
- 4 **[契約]** パネルで、**[新規]** > **[契約]** の順にクリックして、新規契約の作成ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[契約情報全般] ページ	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p>契約 ID: 契約の ID。必須。</p> <p>名前: 契約の名前。必須。</p> <p>説明: 契約の説明。</p> <p>合計コスト: 取引の合計コスト。</p> <p>親契約: 親契約がある場合は、[ブラウズ] ボタンをクリックして検索し、選択して [OK] をクリックします。</p> <p>条件: 条件を指定します。</p> <p>契約タイプ: 14 の契約タイプから 1 つを選択するか、または独自のカスタムタイプを入力します。</p> <p>ステータス: [保留中]、[アクティブ]、または [期限切れです] から選択します。独自のカスタムステータスを入力することもできます。</p> <p>オリジナルの開始日: カレンダーアイコンをクリックして、日付を選択します。消去するには [X] アイコンをクリックします。</p> <p>現在の終了日: カレンダーアイコンをクリックして、日付を選択します。消去するには [X] アイコンをクリックします。</p> <p>エバーグリーン: 契約で指定されている場合は、[エバーグリーン] を選択します。</p> <p>更新オプション: [はい] または [いいえ] を選択します。</p> <p>更新規定: 更新規定を指定します。</p> <p>通知日: カレンダーアイコンをクリックして、日付を選択します。消去するには [X] アイコンをクリックします。</p> <p>通知の説明: 通知の説明を指定します。</p>
[ベンダ情報] ページ	<p>フィールドにベンダ情報を指定します。契約タイプが [リース] の場合は、追加のフィールドにも入力します。</p>
[新規契約のサマリ] ページ	<p>入力した情報を確認します。前に戻る場合は [戻る] ボタンを使用します。</p>

- 5 (オプション) [追加プロパティを定義] を選択して、さらに詳しく契約を定義します。
- 6 [完了] をクリックします。
 契約が作成されます。ステップ 5 で [追加プロパティを定義] を選択した場合は、79 ページのセクション 8.2 「契約の定義」に進みます。

8.1.2 既存の契約のコピー

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。

名前	タイプ
契約 [詳細]	フォルダ
日付の通知 [詳細]	フォルダ
契約管理レポート [詳細]	フォルダ

- 3 [契約] をクリックします。
- 4 [契約] パネルで、コピーする契約の隣のチェックボックスを選択して、[コピー] をクリックして、[契約のコピー] ダイアログボックスを表示します。

新しい契約の値を入力します。

契約ID: 00001(1)

名前: ACME(1)

親契約: 親なし
 ソース契約(00001)

OK キャンセル

- 5 次のフィールドに入力します。

契約 ID: 契約の新しい ID を指定します。契約 ID は、フォルダ内の契約 ID と同じものにはできません。

名前: 契約の新しい名前を指定します。

親契約: この契約の親としてソース契約を指定するには、[ソース契約] を選択します。この契約の親としてソース契約の親を指定するには、[ソースと同じ親] を選択します。それ以外の場合は、[親なし] を選択します。

その他の契約を親として指定するには、契約を作成して編集できます (79 ページの「契約の定義」を参照)。この時点では、既存の契約を選択できます。
- 6 [OK] をクリックして新規契約を作成して、[契約] リストに追加します。
- 7 契約を編集して情報を変更する必要がある場合は、契約をクリックして、次のセクション 79 ページの「契約の定義」に進みます。

8.2 契約の定義

8つの領域で、契約をさらに詳しく定義できます。これらは「契約」ページにタブとして表示されます。

- ◆ 80 ページのセクション 8.2.1 「[全般] タブ」
- ◆ 80 ページのセクション 8.2.2 「[ベンダ] タブ」
- ◆ 81 ページのセクション 8.2.3 「[財務] タブ」
- ◆ 81 ページのセクション 8.2.4 「[SLA] タブ」
- ◆ 82 ページのセクション 8.2.5 「[リース] タブ」
- ◆ 82 ページのセクション 8.2.6 「[ドキュメント] タブ」
- ◆ 84 ページのセクション 8.2.7 「[更新] タブ」
- ◆ 85 ページのセクション 8.2.8 「[関係] タブ」

8.2.1 [全般] タブ

「全般」タブは、契約の一般情報です。これは、新規契約の作成ウィザードで作成した情報です。これらのフィールドは直接編集できます。

図 8-1 「契約の一般」タブ

8.2.2 [ベンダ] タブ

「ベンダ」タブには、ベンダに関する情報が含まれています。これは、新規契約の作成ウィザードで作成した情報です。これらのフィールドは直接編集できます。

図 8-2 「契約のベンダー」タブ

8.2.3 [財務] タブ

[財務] タブには、契約に関連するコストが表示されます。この情報は、契約のデータから計算されます。

図 8-3 [Contract Financial] タブ

一般	ベンダ名	財務	SLA	リース	Fコメント	更新	関係
財務							
総コスト:	100.00	年間コスト:	0.00				
アセットごと:		アセットごと:					
ユーザごと:		ユーザごと:					
部署ごと:		部署ごと:					
コストセンターごと:		コストセンターごと:					
サイトごと:		サイトごと:					
ライセンスされた製品ごと:		ライセンスされた製品ごと:					

8.2.4 [SLA] タブ

[SLA] タブでは、サービスレベル契約を作成および削除できます。

サービスレベル契約を作成するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。

ソフトウェア使用状況	ライセンス管理	契約管理	Fコメント
契約管理			
名前	タイプ		
契約 [詳細]	フォルダ		
日付の通知 [詳細]	フォルダ		
契約管理レポート [詳細]	フォルダ		

- 3 [契約] をクリックします。
- 4 既存の契約をクリックして、[契約] ページを開きます。

一般	ベンダ名	財務	SLA	リース	Fコメント	更新	関係
一般							
アクション +							
契約ID: 102	契約のタイプ: ソフトウェアのメンテナンス						
名前:	ステータス: アクティブ						
説明:	元の開始日: 08/07/30						
総コスト: 100.00	現在の終了日:						
親契約:	<input type="checkbox"/> エラーダレイン						
条件:	残り時間:						
	更新オプション: 121						
	更新頻度:						
	通知日: 08/07/31						
	通知の説明:						
適用 リセット							

- 5 [SLA] タブをクリックします。

一般	ベンダ名	財務	SLA	リース	Fコメント	更新	関係
サービスレベル契約							
新規 削除							
<input type="checkbox"/> 122	実際	開始	通知:	終了	通知:		
	456	08/07/29		08/07/29			
5 • 項目の表示							

6 [新規] をクリックします。



7 ダイアログボックスで、サービスレベルのメトリックと実際のサービスレベルを指定して、開始日と終了日を選択します。

8 (オプション) 開始日または終了日が近付いたときに電子メールで通知を受けたい場合は、[日付の通知] を選択します。

9 [適用] をクリックします。

8.2.5 [リース] タブ

[リース] タブにはリースの詳細が表示され、その詳細を編集できます。複数のフィールドに値を指定します。カレンダーアイコンをクリックして、日付を選択します。電子メールで通知を送信するには、[日付の通知] を選択します。[適用] をクリックして、変更を保存します。

図 8-4 [Contract Lease] タブ



8.2.6 [ドキュメント] タブ

[ドキュメント] タブには、契約に関連する既存のドキュメントが表示されます。また、このタブで、ドキュメントを追加することができます。

ドキュメントを追加するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約] をクリックします。

契約ID	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID
00001	ACME	ソフトウェアのメンテナンス				
09987	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス				
99090	nov	SLA				

4 ドキュメントを追加する契約をクリックします。

5 [ドキュメント] タブをクリックします。

ドキュメントID	ファイル名	添付日	ファイルタイプ	ファイルサイズ(KB)	説明	添付者
使用できる項目がありません。						

6 [ドキュメント] パネルで、[追加] をクリックします。

契約用のドキュメントの選択

契約用の選択済みドキュメントを選択します。

検索対象: /ドキュメント

名前フィルタ: * 項目のタイプ: すべてのタイプ

名前	タイプ
ドキュメントフォルダ	フォルダ
ドキュメントフォルダ	ドキュメント

1-2/2 25 項目の表示

すべて選択 0 項目選択 すべて削除

OK キャンセル

7 ダイアログボックスでドキュメントを選択し、[OK] をクリックします。

ドキュメントを削除するには、次の手順に従います。

1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。

2 [契約管理] タブをクリックします。

3 [契約] をクリックします。

契約ID	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID
00001	ACME	ソフトウェアのメンテナンス				
09987	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス				
99090	nov	SLA				

4 削除するドキュメントが含まれる契約をクリックします。

5 [ドキュメント] タブをクリックします。



- 6 [ドキュメント] パネルで、削除するドキュメントを選択します。
- 7 [ドキュメント] メニューバーで、[削除] をクリックします。

8.2.7 [更新] タブ

[更新] タブには、契約の更新履歴が表示されます。また、このタブで、更新レコードを追加および削除できます。

契約を更新するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約] をクリックします。

契約ID	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID
00001	ACME	ソフトウェアのメンテナンス				
09987	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス				
99090	nov	SLA				

- 4 更新する契約をクリックします。
- 5 [更新] タブをクリックします。

入力日	入力者	終了日前	終了日後	発効日	メモ
-----	-----	------	------	-----	----

- 6 [追加] > [契約の更新] の順にクリックします。

- 7 カレンダーアイコンをクリックして日付を選択し、新しい [終了日] および [発効日] を指定します。

8 (オプション) メモがあれば追加します。

9 [適用] をクリックします。

契約更新レコードを削除するには、次の手順に従います。

1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。

2 [契約管理] タブをクリックします。

3 [契約] をクリックします。

契約ID	名前	タイプ	ステータス	開始日	終了日	親契約ID
00001	ACME	ソフトウェアのメンテナンス				
09987	Maintenance	ソフトウェアのメンテナンス				
99090	nov	SLA				

4 削除する更新レコードが含まれる契約をクリックします。

5 [更新] タブをクリックします。

更新履歴					
削除	アクション				
入力日	入力者	終了日前	終了日後	発効日	メモ

6 削除する更新レコードをクリックします。

7 [削除] をクリックします。

8.2.8 [関係] タブ

[関係] タブでは、契約を次の項目に関連付けることができます。

- ◆ **ワークステーション/サーバデバイス** : デバイスを追加するには、[追加] をクリックしてデバイスを検索します。続いて、[OK] をクリックします。デバイスを削除するには、デバイスを選択して [削除] をクリックします。
- ◆ **ネットワークデバイス** : [追加] をクリックしてデバイスを選択し、[OK] をクリックしてネットワークデバイスを追加します。デバイスを削除するには、デバイスを選択して [削除] をクリックします。
- ◆ **ライセンスエンタイトルメント** : ライセンスエンタイトルメントを選択し、[削除] をクリックして関係を解除します。
- ◆ **ユーザ** : [追加] をクリックしてユーザ名を選択し、[OK] をクリックしてユーザを追加します。ユーザを削除するには、ユーザを選択して [削除] をクリックします。
- ◆ **サイト** : [追加] をクリックしてサイト名を選択し、[OK] をクリックしてサイトを追加します。サイトを削除するには、サイトを選択して [削除] をクリックします。
- ◆ **コストセンター** : [コスト] をクリックしてコストセンターを選択し、[OK] をクリックしてコストセンターを追加します。コストセンターを削除するには、コストセンターを選択して [削除] をクリックします。
- ◆ **部署** : [追加] をクリックして部署名を選択し、[OK] をクリックして部署を追加します。部署を削除するには、部署を選択して [削除] をクリックします。

図 8-5 [ドキュメント関係] タブ

一般	ベンダ名	財務	SLA	リース	ドキュメント	更新	関係
ワークステーション/サーバデバイス 詳細							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	マシン	ログイン	MACアドレス	IPアドレス	サイト	部署	コストセンター
使用停止							
使用できる項目がありません。							
ネットワークデバイス 詳細							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	DNS名	IPアドレス	名前	タイプ	説明		
使用できる項目がありません。							
ライセンスの権限 詳細							
削除							
<input type="checkbox"/>	説明	タイプ	ライセンス期間	期間ライセンスステータス	ライセンス数量		
使用できる項目がありません。							
ユーザ 詳細							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	姓	名	ミドルネーム	電話番号	電子メールアドレス		
使用できる項目がありません。							
サイト 詳細							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	説明						
使用できる項目がありません。							
コストセンター 詳細							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	説明						
使用できる項目がありません。							
部署 詳細							
追加 削除							
<input type="checkbox"/>	説明						
使用できる項目がありません。							

8.3 日付の通知の使用

[日付の通知] ページには、契約の作成時に設定した日付の通知が表示されます。既存の通知をクリックすると、電子メール設定を表示または編集できます。

- ◆ 86 ページのセクション 8.3.1 「日付の通知の設定」
- ◆ 87 ページのセクション 8.3.2 「日付通知レコード用フォルダの作成」
- ◆ 88 ページのセクション 8.3.3 「日付の通知レコードの移動」
- ◆ 88 ページのセクション 8.3.4 「日付の通知レコードの削除」

8.3.1 日付の通知の設定

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [日付の通知] をクリックします。

日付の通知						
新規 移動... 削除 アクション						
<input type="checkbox"/>	名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終
<input type="checkbox"/>	102 - [詳細]		0			8/7/07
						9/6/07
1 - 1/1						25 項目の表示

- 4 [アクション] > [デフォルト日付通知設定] の順にクリックします。



- 5 [デフォルト日付通知設定] ダイアログボックスのフィールドに入力します。
- 6 [OK] をクリックします。

8.3.2 日付通知レコード用フォルダの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [日付の通知] をクリックします。

日付の通知							
新規 移動... 削除 アクション							
名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終	次	
102 - [詳細]		0			8/7/07	9/6/07	

- 4 [新規] をクリックします。



- 5 フォルダの名前を指定します。
- 6 [OK] をクリックします。

8.3.3 日付の通知レコードの移動

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [日付の通知] をクリックします。

名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終	次
102 - [詳細]		0			8/7/07	9/6/07

- 4 移動する通知を選択します。
- 5 [移動] をクリックします。
- 6 通知記録の新しい場所を選択します。
- 7 [OK] をクリックします。

8.3.4 日付の通知レコードの削除

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [日付の通知] をクリックします。

名前	フィールド	ステータス	送信済み	エラー	最終	次
102 - [詳細]		0			8/7/07	9/6/07

- 4 削除する通知を選択します。
- 5 [削除] をクリックします。

8.4 契約管理の標準レポートの使用

ZENworks[®] コントロールセンターには、管理ゾーン内のアセットを管理する際に役立つさまざまなレポートが付属しています。[契約管理レポート] ページを使用すると、さまざまな標準レポートとカスタムレポートを使って、契約データを表示できます。

標準 (事前定義済み) レポートは、契約情報を提供します。契約情報は、レポート環境設定に従って整理されます。

- ◆ 89 ページのセクション 8.4.1 「利用可能な標準レポート」
- ◆ 89 ページのセクション 8.4.2 「レポートの実行と表示」

ZENworks レポーティングサーバをインストールしている場合は、追加の Asset Management レポートにアクセスできます。詳細については、73 ページの第 7 章「レポーティングサーバのレポートの使用」を参照してください。

8.4.1 利用可能な標準レポート

ZENworks コントロールセンターには、多くの事前定義済みレポートが付属しており、契約データを参照する場合に使用できます。次の標準レポートを利用できます。

- ◆ **一般契約** : 契約のリストと、一般的な契約の情報が表示されます。
- ◆ **日付の詳細** : 契約と重要な日付のリストが表示されます。
- ◆ **ベンダの詳細** : 契約とベンダ情報のリストが表示されます。
- ◆ **財務の詳細** : 契約と重要な財務情報のリストが表示されます。
- ◆ **SLA の詳細** : すべての契約のサービスレベル契約のリストが表示されます。
- ◆ **リース詳細** : 契約と重要なリース情報のリストが表示されます。
- ◆ **ドキュメントの詳細** : すべての契約のドキュメントのリストが表示されます。
- ◆ **更新の詳細** : すべての契約の更新履歴イベントが表示されます。
- ◆ **関連付けの詳細** : 契約のリストと、関連付け数が表示されます。
- ◆ **親 / 子の詳細** : 契約の階層リストが表示され、親 / 子の関係を示します。

8.4.2 レポートの実行と表示

標準レポートはクリックして実行します。詳細情報については、レポート内のリンクをクリックします。ZENworks Asset Management では、データを別の形式にエクスポートしたり、データをグラフで表示したり、レポートの期間を変更したり、フィルタ基準を変更したりすることができます。次の各セクションで、詳細について説明します。

- ◆ [89 ページの「標準レポートの実行」](#)
- ◆ [89 ページの「異なる形式へのレポートのエクスポート」](#)
- ◆ [90 ページの「レポートのグラフ表示」](#)

標準レポートの実行

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[*Asset Management*] タブをクリックします。
- 2 [*契約管理*] タブをクリックします。
- 3 [*契約管理*] パネルで、[*契約管理レポート*] をクリックします。
- 4 [*契約管理の標準レポート*] パネルで、実行するレポートをクリックします。
レポートは名前および説明によってリストされます。レポートのリストおよび説明の詳細については、[55 ページのセクション 6.1.1 「利用可能な標準レポート」](#) を参照してください。
- 5 リンクをクリックして、より詳しい情報を表示します。

異なる形式へのレポートのエクスポート

ZENworks Asset Management では、レポートデータを Excel、CSV、および PDF の 3 つの形式にエクスポートできます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[*Asset Management*] タブをクリックします。
- 2 [*契約管理*] タブをクリックします。
- 3 [*契約管理*] パネルで、[*契約管理レポート*] をクリックします。

- 4 [契約管理の標準レポート] パネルで、実行するレポートをクリックします。
レポートは名前および説明によってリストされます。レポートのリストおよび説明の詳細については、[55 ページのセクション 6.1.1 「利用可能な標準レポート」](#) を参照してください。
- 5 詳細情報については、レポート内のリンクをクリックします。
- 6 レポートの下部にある 3 つの形式の 1 つをクリックして、レポートをエクスポートします。

レポートのグラフ表示

多くのレポートはグラフとして表示できます。棒グラフ、円グラフ、および線グラフの 3 つのグラフ形式を利用できます (グラフ機能が利用可能な場合は、レポートの下部に [グラフ] と表示されます)。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約管理] パネルで、[契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理の標準レポート] パネルで、実行するレポートをクリックします。
レポートは名前および説明によってリストされます。レポートのリストおよび説明の詳細については、[55 ページのセクション 6.1.1 「利用可能な標準レポート」](#) を参照してください。
- 5 グラフの下部にある [グラフ] をクリックします。
新しいウィンドウが表示され、利用可能なグラフが表示されます。

8.5 契約管理のカスタムレポートの使用

ZENworks コントロールセンターでは、カスタムレポートを作成および実行して、契約情報の分析に使用することができます。

- ◆ [91 ページのセクション 8.5.1 「カスタムレポートのサンプル」](#)
- ◆ [91 ページのセクション 8.5.2 「カスタムレポートの実行」](#)
- ◆ [92 ページのセクション 8.5.3 「カスタムレポートの作成」](#)
- ◆ [93 ページのセクション 8.5.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」](#)
- ◆ [94 ページのセクション 8.5.5 「通知を送信する電子メールアドレスの設定」](#)
- ◆ [95 ページのセクション 8.5.6 「カスタムレポートの編集」](#)
- ◆ [96 ページのセクション 8.5.7 「カスタムレポートの移動」](#)
- ◆ [97 ページのセクション 8.5.8 「カスタムレポートまたはフォルダの削除」](#)
- ◆ [97 ページのセクション 8.5.9 「日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示」](#)
- ◆ [98 ページのセクション 8.5.10 「新しいレポート定義のインポート」](#)

8.5.1 カスタムレポートのサンプル

ZENworks Asset Management には 4 種類のサンプルカスタムレポートがあり、作成できる異なる契約管理レポートタイプを示しています。

- ◆ **関連付けられているアセットがないアクティブ契約**：関連付けられているアセット（ワークステーションまたはネットワークデバイス）がないアクティブな契約が表示されます。
- ◆ **アクティブソフトウェアメンテナンス契約**：タイプがソフトウェアメンテナンスのアクティブな契約が表示されます。
- ◆ **エバーグリーン規定を持つ契約**：エバーグリーン規定を持つアクティブな契約がすべて表示されます。
- ◆ **添付付きドキュメントのない契約**：添付ドキュメントのない契約がすべて表示されます。
- ◆ **契約 - 90 日以内に終了 (更新オプションなし)**：終了日が実行日から 90 日以内の更新不可能な契約がすべて表示されます。
- ◆ **契約 - 90 日以内に終了 (更新オプション)**：終了日が実行日から 90 日以内の更新可能な契約がすべて表示されます。
- ◆ **契約 - 最近 90 日以内に更新済み**：最近 90 日以内に更新された契約が表示されます。
- ◆ **期限切れの契約**：期限切れの契約がすべて表示されます。
- ◆ **リーススケジュールは 60 日以内に終了**：リーススケジュールが含まれており、現在の終了日がレポート実行日から 60 日以内の契約が表示されます。
- ◆ **保留中契約**：保留中の契約がすべて表示されます。

サンプルカスタムレポートの内、1 つの実行方法について、[91 ページのセクション 8.5.2 「カスタムレポートの実行」](#) を参照してください。

独自のカスタムレポートの作成方法については、[92 ページのセクション 8.5.3 「カスタムレポートの作成」](#) を参照してください。

8.5.2 カスタムレポートの実行

- 1 ZENworks コントロールセンターで、**[Asset Management]** タブをクリックします。
- 2 **[契約管理]** タブをクリックします。
- 3 **[契約管理]** パネルで、**[契約管理レポート]** をクリックします。
- 4 **[契約管理のカスタムレポート]** パネルで、実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
各フォルダ内のレポートの数が **[レポートカウント]** カラムに表示されます。
- 5 レポートをクリックします。
レポート定義が表示されます。レポート定義の編集の詳細については、[95 ページのセクション 8.5.6 「カスタムレポートの編集」](#) を参照してください。
- 6 左隅の **[実行]** をクリックします。
[レポート] ページで、レポートのさまざまなリンクをクリックして追加情報を表示します。レポートは、それに対応するリンクをクリックして、Excel、CSV、または PDF 形式でエクスポートできます。

8.5.3 カスタムレポートの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約管理] パネルで、[契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理のカスタムレポート] パネルで、レポートを保存するフォルダをクリックするか、または [新規] をクリックしてフォルダ名を指定し、[OK] をクリックして新しいフォルダを作成します。
- 5 [カスタムレポート] パネルで、[新規] をクリックします。

カスタムレポート定義 - ステップ1/2: フォーカスの選択

名前

タイプ 契約

フォーカス

- 一般
- ベンダ名
- 財務
- サービスレベル契約
- リース
- ドキュメント
- 更新履歴
- 関連付け

- 6 [名前] フィールドで名前を指定します。
- 7 レポートのフォーカスを選択します。オプションは次のとおりです。
 - ◆ 全般
 - ◆ ベンダ名
 - ◆ 財務
 - ◆ サービスレベル契約項目
 - ◆ リース
 - ◆ 文書
 - ◆ 更新履歴
 - ◆ 関連付け
- 8 [続行] をクリックします。

カスタムレポート定義 - ステップ2/2: カラム、カラム順序、および条件の選択

名前: 説明:

フォルダ:

タイプ:

カラム

使用可能	使用可能	カラム順序
SIMロック	契約ID	
アカウント番号	契約名	
キー用語	契約タイプ	
サービス終了日	元のステータス	
サービス開始日	元の開始日	
セカンドリ連絡先電子メール	現在の終了日	
セカンドリ連絡先電話	エラーグリーン	
プライマリ連絡先電子メール	総コスト	
プライマリ連絡先電話	種別契約	
プログラム名	種別契約名	

基準: フィールド オペレータ 値

サマリ条件: サマリフィールド オペレータ 値

9 次のフィールドに入力します。

名前: **ステップ 6** で入力した名前が表示されます。ID は、必要に応じて変更できません。

フォルダ: **ステップ 4** で選択したフォルダが表示されます。ID は、必要に応じて変更できます。

説明: レポートの説明を指定します。

タイプ: 選択したレポートタイプが表示されます。

列: 左側にあるリストからレポートに含めるデータを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したデータを右側のリストに移動します。複数のオプションを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上下アイコンを使用してデータの表示方法を配列します。

基準: ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

サマリ条件: サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

10 [保存] をクリックします。

次回 [カスタムページ] を開くと、[カスタムレポート] パネルにレポートが表示されます。

8.5.4 カスタムレポートのスケジュールと通知の送信

レポートを自動的に実行して、レポートが準備できたら指定したユーザに通知を送信するようにスケジュールすることができます。

電子メール通知を送信する場合は、SMTP 電子メールサーバを前もって定義しておく必要があります。これは [SMTP 設定] オプション ([環境設定] タブ > [管理ゾーンの設定] パネル > [イベントとメッセージング] > [SMTP 設定]) で実行されます。

1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。

2 [契約管理] タブをクリックします。

- 3 [契約管理] パネルで、[契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理のカスタムレポート] パネルで、スケジュールするレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 5 スケジュール設定したいレポートをクリックします。
- 6 [スケジュール/通知] をクリックします。

スケジュールレポート/通知: エバーグリーン規定を持つ契約

開始日	<input type="text"/> 
頻度	年 <input type="button" value="v"/>
出力	<input checked="" type="radio"/> 保存されたレポートの結果 <input type="radio"/> 通知(電子メール)の送信 <input type="radio"/> 両方 <input checked="" type="checkbox"/> 一致するレコードが見つかった場合にのみ通知を送信/結果を保存します
最大レコード	<input type="text"/>

- 7 次のフィールドに入力します：

開始日： カレンダーアイコンをクリックして、日付を指定します。

頻度： 通知を送信する頻度を選択します。年、月、週、日、一度、またはなし。

出力： レポートを保存するか、レポートの準備ができたことを知らせる電子メール通知を送信するか、または両方を選択します。結果を保存するか、または一致したレコードが検出されたときにのみ通知を送信するかを選択することもできます。電子メールアドレスの設定の詳細については、[65 ページのセクション 6.2.5 「通知を送信する電子メールアドレスの設定」](#) を参照してください。

最大レコード： 保存するレコードの最大数を指定します。

- 8 [送信] をクリックします。

レポートはスケジュールした時間に実行されます。

8.5.5 通知を送信する電子メールアドレスの設定

カスタムレポートが実行されたときに選択したユーザに通知を送信できます。これを行うには、通知先の電子メールアドレスを ZENworks コントロールセンターにインポートする必要があります。通知の送信の詳細については、[63 ページのセクション 6.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」](#) を参照してください。

[アセットインベントリ] ページの [電子メールアドレス] パネルでは、電子メールアドレスをインポートできます。これらのアドレスを使用して、レポート定義の設定に従って、カスタムレポートの準備ができたなら通知を送信できます。以前にインポートした電子メールアドレスは、ユーザの名前と一緒にパネルに一覧表示されています。

電子メールアドレスをインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [電子メールアドレス] パネルで、[アクション] > [電子メールアドレスの管理] をクリックします。

電子メールアドレスの管理

インポート元 ▼

- 4 [インポート元] フィールドで、[インベントリデータ] または [カンマ区切りファイル] のいずれかを選択します。
[インベントリデータ] を選択した場合は、インベントリスキャンで検出された電子メールアドレスがインポートされます。
[カンマ区切りファイル] を選択した場合は、[電子メールアドレスファイル] フィールドにファイルの場所を指定します。
- 5 [インポート] をクリックします。
- 6 [閉じる] をクリックします。

すべての電子メール情報を削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [電子メールアドレス] パネルで、[アクション] > [電子メールアドレスの管理] をクリックします。

電子メールアドレスの管理

インポート元 ▼

- 4 [削除] をクリックします。
 - 5 [OK] をクリックします。
- すべての電子メール情報が削除されます。

8.5.6 カスタムレポートの編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理のカスタムレポート] パネルで、編集するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 5 レポートをクリックします。
- 6 左隅の [編集] をクリックします。



7 次のフィールドを編集します。

名前: レポートの名前。

フォルダ: レポートを保存するフォルダ。

説明: レポートの説明。

列: 左側にあるリストからレポートに含めるデータを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したデータを右側のリストに移動します。複数のオプションを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらかlickします。上下アイコンを使用してデータの表示方法を配列します。

基準: ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

サマリ条件: サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

8 [保存] をクリックします。

8.5.7 カスタムレポートの移動

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約管理] パネルで、[契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理のカスタムレポート] パネルで、移動するレポートが1つ以上含まれるフォルダをクリックします。
- 5 移動するレポートを選択します。
- 6 [編集] > [移動] の順にクリックします。

- 7 新しいフォルダの場所を選択します。
- 8 [OK] をクリックします。

8.5.8 カスタムレポートまたはフォルダの削除

カスタムレポートを削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約管理] パネルで、[契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理のカスタムレポート] パネルで、削除するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 5 削除するレポートを選択します。
- 6 [削除] をクリックします。

フォルダ (およびフォルダ内のすべてのレポート) を削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約管理] パネルで、[契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理のカスタムレポート] パネルで、削除するフォルダをクリックします。
- 5 [削除] をクリックします。

8.5.9 日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示

スケジュールごとに実行されるレポートはデータベースに保存されます。これらのレポートはタイトルまたは日付で参照できます。レポートのスケジュール設定の詳細については、[69 ページのセクション 6.2.9 「日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示」](#)を参照してください。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約管理] パネルで、[契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理のカスタムレポート] パネルで、次のいずれか1つをクリックします。
 - [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果を日付ごとに表示]
 - [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果をタイトルごとに表示]

[グループごとのスケジュール済みレポート] ページが開き、日付またはタイトルでグループ化された保存済みのスケジュール済みカスタムレポートとレポート件数が表示されます。日付またはタイトルをクリックして、[スケジュール済みレポート] ページを開きます。このページで、レポートを選択または表示できます。レポートのグループを削除するには、グループを選択して [削除] をクリックします。

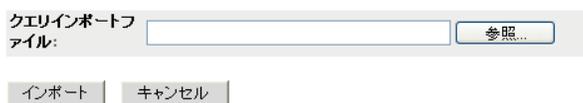
8.5.10 新しいレポート定義のインポート

レポートを ZENworks Asset Management 7.5 で定義した場合は、ZENworks コントロールセンターにインポートできます。ZENworks コントロールセンターによってエクスポートされたレポートを再インポートすることもできます。インポートには、事前定義した XML 形式が必要です。

レポート定義をインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [契約管理] タブをクリックします。
- 3 [契約管理] パネルで、[契約管理レポート] をクリックします。
- 4 [契約管理のカスタムレポート] パネルで、[アクション] > [新規レポート定義のインポート] の順にクリックします。

カスタムレポート定義のインポート



- 5 [クエリインポートファイル] フィールドにファイルを指定するか、または [ブラウザ] をクリックして検索します。
- 6 [インポート] をクリックします。

8.6 レポート権限の設定

ZENworks Asset Management のレポート権限を使用することで、各フォルダとそれに含まれるレポートに対する各管理者の権限を管理できます。各レポートフォルダには、フォルダに関連する権限が設定されており、この権限はフォルダ内すべてのレポートに適用されます。たとえば、全権限を持つユーザは、レポートを編集ができますが、表示 / 実行権限を持つユーザは、レポートの表示および実行のみできます。ZENworks Asset Management のレポート権限を使用して、特定のレポートへのアクセス権や編集権を制限できます。カスタムまたは標準のレポートフォルダタイプ、およびレポート名がフォルダに関連する権限と共に一覧表示されます。次の選択肢があります。

- ◆ **すべての権限の削除** : フォルダに関するすべての権限が削除され、特定の管理者はフォルダを表示できなくなります。
- ◆ **権限の表示 / 実行の割り当て** : 特定の管理者は特定のフォルダ内のレポートを表示および実行できますが、フォルダ内のレポートの編集、移動、または削除はできません。
- ◆ **全権限の割り当て** : レポートを作成、編集、移動、および削除する全権限が特定の管理者に与えられます。標準レポートに関しては、レポートの変更ができませんので、この設定は [表示 / 実行] と同じになります。

インベントリレポート権限を変更するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理者] パネルで管理者をクリックします。
- 3 [管理者タスク] パネルで、[アセット管理レポート権限] をクリックします。

フォルダ名	ソース	権限
フォルダタイプ	フォルダ名	権限
カスタムレポート	Software Application Usage	使用状況 表示/実行権限
カスタムレポート	Software Compliance	ライセンス管理 表示/実行権限
カスタムレポート	091	ライセンス管理 表示/実行権限
カスタムレポート	Contract Management	契約管理 表示/実行権限
標準レポート	すべての使用状況	使用状況 全権限
標準レポート	アプリケーション使用状況	使用状況 表示/実行権限
標準レポート	契約管理	契約管理 全権限
標準レポート	ネットワーク/ソフトウェア使用状況	使用状況 表示/実行権限
標準レポート	その他のレポート	ライセンス管理 表示/実行権限
標準レポート	購入数	ライセンス管理 全権限
標準レポート	ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス管理 表示/実行権限
標準レポート	ソフトウェアファイル使用状況	使用状況 表示/実行権限
標準レポート	スイート	ライセンス管理 全権限
標準レポート	未調整の製品	ライセンス管理 表示/実行権限
標準レポート	Webアプリケーション使用状況	使用状況 表示/実行権限

- 4 権限を変更するフォルダを選択します。
- 5 次のいずれかをクリックします。
 - ◆ [編集] > [すべての権限を削除]
 - ◆ [編集] > [権限の表示/実行の割り当て]
 - ◆ [編集] > [全権限の割り当て]

変更内容は [権限] カラムに反映されます。

8.7 ドキュメントの追加と関連付け

ZENworks Asset Management では、エンタイトルメント、契約、および購入概要レコードにドキュメントを添付して、所有権の証明を設定する場合に役立てることができます。これは次の2つの手順で構成されるプロセスです。

- ◆ 99 ページのセクション 8.7.1 「ドキュメントの追加」
- ◆ 100 ページのセクション 8.7.2 「ドキュメントの関連付け」

8.7.1 ドキュメントの追加

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ドキュメント] タブをクリックします。
- 3 [ドキュメント] パネルで、[新規] > [ドキュメントのアップロード] の順にクリックして、新規ドキュメントのアップロードウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[追加するドキュメントファイルの指定] ページ	[ファイル名] フィールドでファイルを指定するか、または [ブラウズ] をクリックして検索します。

[ウィザード] ページ	詳細
[ドキュメントファイルの情報] ページ	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p>ドキュメント ID: ファイル ID を指定します。</p> <p>ローカルパス: このフィールドには、ファイルのパスが表示されます。</p> <p>ソースの場所: ソースファイルの場所を指定します。</p> <p>現在日: カレンダーアイコンをクリックして、日付を選択します。</p> <p>説明: 必要に応じて、説明を追加します。</p>
新規ドキュメントの概要	<p>入力したデータを確認します。修正する場合は、[戻る] ボタンを使用します。[終了] をクリックして、ドキュメントをアップロードします。</p>

ドキュメントを移動するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ドキュメント] タブをクリックします。
- 3 移動するドキュメントを選択します。
- 4 [ドキュメントの移動] ダイアログボックスで、移動先のフォルダを選択します。
- 5 [OK] をクリックします。

ドキュメントまたはフォルダを削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ドキュメント] タブをクリックします。
- 3 削除するドキュメントまたはフォルダを選択します。
- 4 [削除] をクリックします。

8.7.2 ドキュメントの関連付け

ドキュメントをエンタイトルメントに関連付けるには、[47 ページのセクション 5.3.1 「ライセンスエンタイトルメントの作成」](#)を参照してください。

ドキュメントを契約に関連付けるには、[82 ページのセクション 8.2.6 「\[ドキュメント\] タブ」](#)を参照してください。

ドキュメントを購入概要レコードに関連付けるには、[24 ページのセクション 2.3 「購入概要レコードの作成」](#)を参照してください。

ソフトウェアコレクションの使用

9

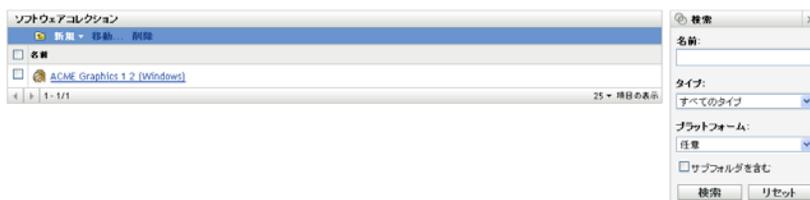
ソフトウェアコレクションを使用すると、複数の製品を1つのコレクションに統合し、コンプライアンスのトラッキングを簡素化することができます。

ソフトウェアコレクションの管理には、次の3つのタスクが含まれます。

- 101 ページのセクション 9.1 「ソフトウェアコレクションの作成」
- 102 ページのセクション 9.2 「ソフトウェアコレクションの削除」
- 102 ページのセクション 9.3 「ソフトウェアコレクションの移動」

9.1 ソフトウェアコレクションの作成

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ライセンス管理] パネルで、[ソフトウェアコレクション] をクリックします。



- 3 [新規] > [ソフトウェアコレクション] の順にクリックして、新規ソフトウェアコレクションの作成ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[一般情報] ページ	次のフィールドに入力します。 製造元 ：製造元の名前を指定します。 製品 ：製品名を指定します。 バージョン ：製品バージョンを指定します。 プラットフォーム ：Windows または Mac のいずれかを指定します。 メモ ：必要に応じて、メモを追加します。
[新規ソフトウェアコレクションのサマリ] ページ	概要データを確認します。変更を加えるには [戻る] をクリックします。

- 4 (オプション) [終了] をクリックした後にソフトウェアコレクションにメンバー製品を追加する場合は、[追加プロパティを定義] を選択します。
- 5 [終了] をクリックして、ソフトウェアコレクションを作成します。ステップ 4 で [追加プロパティを定義] を選択した場合は、ステップ 6 に進みます。

- 6 ソフトウェアコレクションにメンバー製品を追加します。
 - 6a 実行する作業内容に応じて、[追加] > [インストール済みの検出された製品] または [追加] > [任意の検出された製品] をクリックします。
 - 6b 追加する製品を選択して、[OK] をクリックします。

9.2 ソフトウェアコレクションの削除

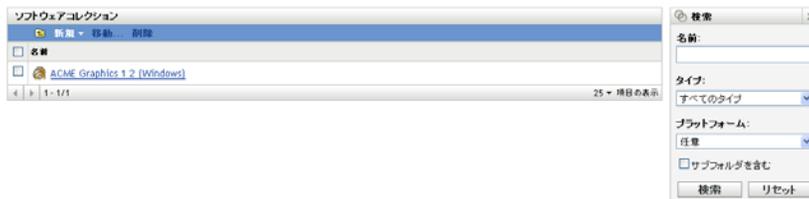
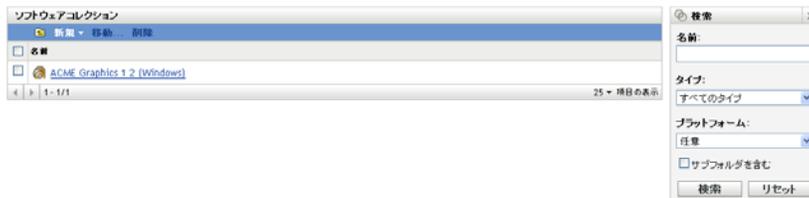
- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェアコレクション] をクリックします。



- 3 [ソフトウェアコレクション] パネルで、削除するコレクションを選択します。
- 4 [削除] をクリックします。

9.3 ソフトウェアコレクションの移動

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェアコレクション] をクリックします。



- 3 [ソフトウェアコレクション] パネルで、移動するコレクションを選択します。
- 4 [移動] をクリックします。
- 5 [ソフトウェアコレクションの移動] ダイアログボックスで、移動先のフォルダを選択します。
- 6 [OK] をクリックします。

ソフトウェア使用状況の監視

ZENworks® コントロールセンターには、アセット管理に関する決定を下す際に役立つさまざまなレポートが付属しています。たとえば、製品の使用頻度を確認できれば、追加ライセンスを購入するべきか、それともライセンス数を減らすべきかを容易に判断できます。[ソフトウェア使用状況] ページでは、さまざまな標準レポートおよびカスタムレポートを通して、ソフトウェアの使用状況を監視できます。このセクションでは、次のトピックについて説明します。

- ◆ 103 ページのセクション 10.1 「ソフトウェア使用状況標準レポートの使用」
- ◆ 108 ページのセクション 10.2 「ソフトウェア使用状況カスタムレポートの使用」
- ◆ 115 ページのセクション 10.3 「レポート権限の設定」
- ◆ 116 ページのセクション 10.4 「Web アプリケーションの使用状況の監視」

ZENworks レポートングサーバをインストールしている場合は、追加の Asset Management レポートにアクセスできます。詳細については、73 ページの第 7 章「レポートングサーバのレポートの使用」を参照してください。

10.1 ソフトウェア使用状況標準レポートの使用

標準 (事前定義済み) レポートは、ソフトウェア使用状況データをスキャンし、レポート環境設定に従ってデータを整理します。

- ◆ 103 ページのセクション 10.1.1 「利用可能な標準レポート」
- ◆ 105 ページのセクション 10.1.2 「標準レポートの実行」

10.1.1 利用可能な標準レポート

ZENworks コントロールセンターには、多くの事前定義済みレポートが付属しており、管理ゾーンにおけるソフトウェア使用状況を分析する場合に使用できます。これらのレポートは機能別にグループ分けされます。利用可能なレポートは次のとおりです。

- ◆ **アプリケーション使用状況** : アプリケーションの使用状況にフォーカスしたレポート。
 - ◆ **製品ごとのアプリケーション使用状況 (全体)** : ローカルおよびサービスアプリケーションの使用状況 (全体) が製品ごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **ユーザごとのアプリケーション使用状況 (全体)** : ローカルおよびサービスアプリケーションの使用状況 (全体) がユーザごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **デバイスごとのアプリケーション使用状況 (全体)** : ローカルおよびサービスアプリケーションの使用状況 (全体) がデバイスごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **製品ごとのアプリケーション使用状況 (ローカル)** : ローカルアプリケーションの使用状況が製品ごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **ユーザごとのアプリケーション使用状況 (ローカル)** : ローカルアプリケーションの使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **デバイスごとのローカルアプリケーションの使用状況** : ローカルアプリケーションの使用状況がデバイスごとにまとめて表示されます。

- ◆ **製品ごとのサービスアプリケーション使用状況**：サービスアプリケーションの使用状況が製品ごとにまとめて表示されます。
- ◆ **サーバごとのサービスアプリケーション使用状況**：サービスアプリケーションの使用状況がサーバごとにまとめて表示されます。
- ◆ **ユーザごとのサービスアプリケーション使用状況**：サービスアプリケーションの使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
- ◆ **デバイスごとのサービスアプリケーション使用状況**：サービスアプリケーションの使用状況がデバイスごとにまとめて表示されます。
- ◆ **使用状況収集履歴**：データ収集の履歴が表示されます。
- ◆ **Web アプリケーション使用状況**：Web アプリケーションの使用状況にフォーカスしたレポート。
 - ◆ **アプリケーションごとの Web アプリケーション使用状況**：Web アプリケーションの使用状況がアプリケーションごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **ユーザごとの Web アプリケーション使用状況**：Web アプリケーションの使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **デバイスごとの Web アプリケーション使用状況**：Web アプリケーションの使用状況がデバイスごとにまとめて表示されます。
- ◆ **ソフトウェアファイルの使用状況**：ソフトウェアファイルの使用状況にフォーカスしたレポート。これらのレポートは、ZENworks ナレッジベースによって認識されていない製品について、ソフトウェアアプリケーションの使用状況を判断する際に便利です。ZENworks ナレッジベースおよびローカルソフトウェア製品 (ナレッジベースによって認識されていない製品) の詳細については、『ZENworks 10 アセットインベントリリファレンス』を参照してください。
 - ◆ **カテゴリごとのソフトウェアファイル使用状況**：ファイルのリストへのリンクとともに、ソフトウェアファイルの数がカテゴリ ([すべて]、 [その他]、 および [補助]) ごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **製造元ごとのソフトウェアファイル使用状況**：製造元によってグループ分けされたソフトウェアファイルのカウントをファイルのリストへのリンクと一緒に表示します。
 - ◆ **デバイスごとのソフトウェアファイル使用状況**：デバイスによってグループ分けされたソフトウェアファイルのカウントをファイルのリストへのリンクと一緒に表示します。
- ◆ **ネットワークソフトウェアの使用状況**：ネットワークドライブから起動されたソフトウェアにフォーカスした使用状況レポート。
 - ◆ **製品ごとのネットワークソフトウェア使用状況**：ネットワークソフトウェアの使用状況が製品ごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **サーバごとのネットワークソフトウェア使用状況**：ネットワークソフトウェアの使用状況がサーバごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **ユーザごとのネットワークソフトウェア使用状況**：ネットワークソフトウェアの使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **デバイスごとのネットワークソフトウェア使用状況**：ネットワークソフトウェアの使用状況がデバイスごとにまとめて表示されます。

- ◆ **すべての使用状況** : アプリケーションの総使用状況 (ローカル、サーバ、Web アプリケーション、およびネットワーク使用状況) にフォーカスしたレポート。
 - ◆ **ユーザごとのすべての使用状況** : すべての使用状況がユーザごとにまとめて表示されます。
 - ◆ **デバイスごとのすべての使用状況** : すべての使用状況がデバイスごとにまとめて表示されます。

10.1.2 標準レポートの実行

標準レポートはクリックして実行します。ZENworks Asset Management では、データを別の形式にエクスポートしたり、データをグラフで表示したり、レポートの期間を変更したり、フィルタ基準を変更したりすることができます。次の各セクションで、詳細について説明します。

- ◆ [105 ページの「レポートの実行」](#)
- ◆ [106 ページの「異なる形式へのレポートのエクスポート」](#)
- ◆ [106 ページの「レポートのグラフ表示」](#)
- ◆ [106 ページの「レポートの期間の変更」](#)
- ◆ [107 ページの「レポートのフィルタ基準の変更」](#)

レポートの実行

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用の標準レポート] パネルで、実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。

レポートは名前および説明によってリストされます。レポートのリストおよび説明の詳細については、[103 ページのセクション 10.1.1 「利用可能な標準レポート」](#) を参照してください。

- 4 (オプション) 検索をフィルタする方法を選択します。



次のいずれかを使用して、レポートデータの範囲を限定できます。

- ◆ **ゾーン** : [ゾーン] を選択して管理ゾーン全体からデータを収集します。
- ◆ **フォルダ** : [フォルダ] を選択し、フォルダ名を指定してそのフォルダに関するデータを収集します。
- ◆ **グループ** : [グループ] を選択し、グループ名を指定してそのグループに関するデータを収集します。
- ◆ **人口統計** : [人口統計] を選択し、データのフィルタに使用する条件を選択します。

- 5 レポートをクリックして実行します。
- 6 リンクをクリックして、より詳しい情報を表示します。

異なる形式へのレポートのエクスポート

ZENworks Asset Management では、レポートデータを Excel、CSV、および PDF の 3 つの形式にエクスポートできます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用の標準レポート] パネルで、実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 レポートをクリックして実行します。
- 5 レポートの下部にある 3 つの形式の 1 つをクリックして、レポートをエクスポートします。

レポートのグラフ表示

多くのレポートはグラフとして表示できます。棒グラフ、円グラフ、および線グラフの 3 つのグラフ形式を利用できます (グラフ機能が利用可能な場合は、レポートの下部に [グラフ] と表示されます)。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用の標準レポート] パネルで、実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 レポートをクリックして実行します。
- 5 グラフの下部にある [グラフ] をクリックします。
新しいウィンドウが表示され、利用可能なグラフが表示されます。

レポートの期間の変更

より柔軟なレポートのために、一部のレポートでは期間を変更できます (この機能が利用可能な場合は、レポートの下部に [期間の変更] と表示されます)。次の期間の中から選択できます。

- ◆ 先月
- ◆ 直前 3ヶ月
- ◆ 直前 6ヶ月
- ◆ 直前 12ヶ月
- ◆ データベース内のすべての履歴

期間を変更するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用の標準レポート] パネルで、実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。

- 4 レポートをクリックして実行します。
- 5 [期間の変更] をクリックします。



- 6 [期間] フィールドで期間を選択します。
- 7 [適用] をクリックします。
レポートが再実行され、新しい期間がレポートの左上に表示されます。

レポートのフィルタ基準の変更

多くのレポートでは、レポートのフィルタ基準を変更できます(この機能が利用可能な場合は、レポートの下部に [期間/フィルタの変更] と表示されます)。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用の標準レポート] パネルで、実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 レポートをクリックして実行します。
- 5 レポートの下部にある [期間/フィルタの変更] をクリックします。



- 6 [期間] フィールドで期間を選択します。
- 7 次のいずれかのフィルタを選択します。
 - ◆ 使用アプリケーションのみ
 - ◆ 未使用アプリケーションのみ
 - ◆ すべてのアプリケーション
- 8 [適用] をクリックします。

10.2 ソフトウェア使用状況カスタムレポートの使用

ZENworks コントロールセンターでは、カスタムレポートを作成および実行して、管理ゾーンのソフトウェア使用状況を分析するために使用できます。詳細は次を参照してください。

- ◆ 108 ページのセクション 10.2.1 「利用可能なカスタムレポート」
- ◆ 108 ページのセクション 10.2.2 「カスタムレポートの実行」
- ◆ 109 ページのセクション 10.2.3 「カスタムレポートの作成」
- ◆ 110 ページのセクション 10.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」
- ◆ 111 ページのセクション 10.2.5 「通知を送信する電子メールアドレスの設定」
- ◆ 112 ページのセクション 10.2.6 「カスタムレポートの編集」
- ◆ 113 ページのセクション 10.2.7 「カスタムレポートの移動」
- ◆ 114 ページのセクション 10.2.8 「カスタムレポートまたはフォルダの削除」
- ◆ 114 ページのセクション 10.2.9 「日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示」
- ◆ 114 ページのセクション 10.2.10 「新しいレポート定義のインポート」

10.2.1 利用可能なカスタムレポート

ZENworks Asset Management には 4 種類のサンプルカスタムレポートがあり、作成できる異なる種類のソフトウェア使用状況レポートの例となっています。

- ◆ **90 日間に使用されていない SW Apps:** 過去 90 日間に使用されていないアプリケーションが表示されます。
- ◆ **仮想マシン上での SW 使用状況:** 管理ゾーン内の仮想マシン上でのソフトウェア使用状況が表示されます。
- ◆ **最近 7 日間に使用された不審なソフトウェアを含むワークステーション:** 過去 7 日間に使用された疑わしいソフトウェアが含まれるワークステーションが表示されます。

10.2.2 カスタムレポートの実行

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[*Asset Management*] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、実行するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
各フォルダ内のレポートの数が [レポートカウント] カラムに表示されます。
- 4 レポートをクリックします。

レポート定義が表示されます。レポート定義の編集の詳細については、112 ページのセクション 10.2.6 「カスタムレポートの編集」を参照してください。

5 左隅の [実行] をクリックします。

[レポート] ページで、レポートのさまざまなリンクをクリックして追加情報を表示します。レポートは、それに対応するリンクをクリックして、Excel、CSV、またはPDF形式でエクスポートできます。

10.2.3 カスタムレポートの作成

1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。

2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。

3 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、レポートを保存するフォルダをクリックするか、または [新規] をクリックしてフォルダ名を指定し、[OK] をクリックして新しいフォルダを作成します。

4 [カスタムレポート] パネルで、[新規] をクリックします。

カスタムレポート定義 - ステップ 1/2: タイプとフォーカスの選択

名前	<input type="text"/>
タイプ	<input checked="" type="radio"/> 合計ソフトウェア使用状況 <input type="radio"/> ローカルソフトウェア使用状況 <input type="radio"/> サービスソフトウェア使用状況 <input type="radio"/> Webソフトウェア使用状況 <input type="radio"/> ソフトウェアファイル使用状況 <input type="radio"/> ネットワークソフトウェア使用状況
フォーカス	<input checked="" type="radio"/> 使用状況(サーバデバイス詳細) <input type="radio"/> 使用状況(リモートデバイス詳細)

5 [名前] フィールドで名前を指定します。

6 レポートタイプを選択します。タイプは次のとおりです。

- ◆ 合計ソフトウェア使用状況
- ◆ ローカルソフトウェア使用状況
- ◆ サービスソフトウェア使用状況
- ◆ Web ソフトウェア使用状況
- ◆ ソフトウェアファイル使用状況
- ◆ ネットワークソフトウェア使用状況

7 レポートのフォーカスを選択します。

8 [続行] をクリックします。

カスタムレポート定義 - ステップ11: カラム、カラム順序、および条件の選択

名前: 説明:

フォルダ: ソフトウェアアプリケーションの使用状況

タイプ: 購買記録

カラム

使用可能	カラム順序
カラムの説明	購入PO番号
カラムアップグレード	購入請求番号
カラムメモ	購入販売店
カラムライセンス数	注文書日
カラム製造部品番号	カラム製造元
カラム販売店SKU	カラム製品
一致するカラム	カラムバージョン
購入コストセンター	カラムタイプ
購入ユニット	購入数量
購入サイト	購入ユニットNSRP

基準

フィールド	オペレータ	値	
関連するカラム	=	なし	又は
関連するカラム	=	なし	又は

サマリ条件

サマリフィールド	オペレータ	値
購入総額	次と揃ってない	0

戻る 保存 キャンセル

9 次のフィールドに入力します。

名前: **ステップ 5** で入力した名前が表示されます。ID は、必要に応じて変更できます。

フォルダ: **ステップ 3** で選択したフォルダが表示されます。ID は、必要に応じて変更できます。

説明: レポートの説明を指定します。

タイプ: 選択したレポートタイプが表示されます。

列: 左側にあるリストからレポートに含めるデータを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したデータを右側のリストに移動します。複数のオプションを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上下アイコンを使用してデータの表示方法を配列します。

基準: ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

サマリ条件: サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

10 [保存] をクリックします。

次回 [カスタムページ] を開くと、[カスタムレポート] パネルにレポートが表示されます。

10.2.4 カスタムレポートのスケジュールと通知の送信

レポートを自動的に実行して、レポートが準備できたら指定したユーザに通知を送信するようにスケジュールすることができます。

電子メール通知を送信する場合は、SMTP 電子メールサーバを前もって定義しておく必要があります。これは [SMTP 設定] オプション ([環境設定] タブ > [管理ゾーンの設定] パネル > [イベントとメッセージング] > [SMTP 設定]) で実行されます。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、スケジュールするレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 スケジュール設定したいレポートをクリックします。
- 5 [スケジュール/通知] をクリックします。

スケジュールレポート/通知: 未調整の検出された製品

開始日	<input type="text"/>
頻度	年
出力	<input checked="" type="radio"/> 保存されたレポートの結果 <input type="radio"/> 通知(電子メール)の送信 <input type="radio"/> 両方 <input checked="" type="checkbox"/> 一致するレコードが見つかった場合にのみ通知を送信/結果を保存します
最大レコード	<input type="text"/>

- 6 次のフィールドに入力します：

開始日：カレンダーアイコンをクリックして、日付を指定します。

頻度：通知を送信する頻度を選択します。年、月、週、日、一度、またはなし。

出力：レポートを保存するか、レポートの準備ができたことを知らせる電子メール通知を送信するか、または両方を選択します。結果を保存するか、または一致したレコードが検出されたときにのみ通知を送信するかを選択することもできます。電子メールアドレスの設定の詳細については、[111 ページのセクション 10.2.5 「通知を送信する電子メールアドレスの設定」](#)を参照してください。

最大レコード：保存するレコードの最大数を指定します。

- 7 [送信] をクリックします。

レポートはスケジュールした時間に実行されます。

10.2.5 通知を送信する電子メールアドレスの設定

カスタムレポートが実行されたときに選択したユーザに通知を送信できます。これを行うには、通知先の電子メールアドレスを ZENworks コントロールセンターにインポートする必要があります。通知の送信の詳細については、[110 ページのセクション 10.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」](#)を参照してください。

[アセットインベントリ] ページの [電子メールアドレス] パネルでは、電子メールアドレスをインポートできます。これらのアドレスを使用して、レポート定義の設定に従って、カスタムレポートの準備ができたなら通知を送信できます。以前にインポートした電子メールアドレスは、ユーザの名前と一緒にパネルに一覧表示されています。

電子メールアドレスをインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。

- 3 [電子メールアドレス] パネルで、[アクション] > [電子メールアドレスの管理] をクリックします。

電子メールアドレスの管理

インポート元 インベントリデータ

インポート キャンセル 削除...

- 4 [インポート元] フィールドで、[インベントリデータ] または [カンマ区切りファイル] のいずれかを選択します。
[インベントリデータ] を選択した場合は、インベントリスキャンで検出された電子メールアドレスがインポートされます。
[カンマ区切りファイル] を選択した場合は、[電子メールアドレスファイル] フィールドにファイルの場所を指定します。
- 5 [インポート] をクリックします。
- 6 [閉じる] をクリックします。

すべての電子メール情報を削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [アセットインベントリ] タブをクリックします。
- 3 [電子メールアドレス] パネルで、[アクション] > [電子メールアドレスの管理] をクリックします。
- 4 [削除] をクリックします。
- 5 [OK] をクリックします。
すべての電子メール情報が削除されます。

10.2.6 カスタムレポートの編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、編集するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 レポートをクリックします。
- 5 左隅の [編集] をクリックします。

カスタムレポート定義 - ステップ2: カラム、カラム順序、および条件の選択

名前: 説明:

フォルダ: ソフトウェアアプリケーション使用状況

タイプ: 購買記録

カラム

使用可能	カラム順序
カダログの説明	購入PO番号
カダログアップグレード	購入請求番号
カダログメモ	購入販売店
カダログライセンス款	注文書ID
カダログ製造部品番号	カダログ製造元
カダログ販売店SKU	カダログ製品
一致するカダログ	カダログバージョン
購入コストセンター	カダログタイプ
購入コメント	購入数量
購入サイト	購入コストMSRP

基準

フィールド	オペレータ	値	
関連するカダログ	-	しりべ	又は +
関連するカダログ	-	しりべ	又は +
カダログアップグレード	-	はい	又は +

サマリ条件

サマリフィールド	オペレータ	値
購入総額	>	0

戻る 保存 キャンセル

6 次のフィールドを編集します。

名前: レポートの名前。

フォルダ: レポートを保存するフォルダ。

説明: レポートの説明。

列: 左側にあるリストからレポートに含めるデータを選択します。矢印アイコンを使用して、選択したデータを右側のリストに移動します。複数のオプションを同時に選択するには、<Ctrl> キーを押しながらクリックします。上下アイコンを使用してデータの表示方法を配列します。

基準: ファイル基準を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

サマリ条件: サマリフィルタ条件を [フィールド]、[オペレータ]、および [値] フィールドで選択します。フィルタを追加するには [+] アイコンを使用します。フィルタを削除するには [-] アイコンを使用します。[OR] または [AND] をクリックして、2つのオペレータを切り替えます。

7 [保存] をクリックします。

10.2.7 カスタムレポートの移動

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、移動するレポートが1つ以上含まれるフォルダをクリックします。
- 4 移動するレポートを選択します。
- 5 [編集] > [移動] の順にクリックします。
- 6 新しいフォルダの場所を選択します。
- 7 [OK] をクリックします。

10.2.8 カスタムレポートまたはフォルダの削除

カスタムレポートを削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、削除するレポートが含まれるフォルダをクリックします。
- 4 削除するレポートを選択します。
- 5 [削除] をクリックします。

フォルダ (およびフォルダ内のレポート) を削除するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、削除するフォルダを選択します。
- 4 [削除] をクリックします。

10.2.9 日付およびタイトルでのスケジュールレポートの表示

スケジュールごとに実行されるレポートはデータベースに保存されます。これらのレポートはタイトルまたは日付で参照できます。レポートのスケジュール設定の詳細については、[110 ページのセクション 10.2.4 「カスタムレポートのスケジュールと通知の送信」](#)を参照してください。

スケジュールレポートを日付またはタイトルで表示するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェア使用状況] タブをクリックします。
- 3 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、次のいずれか 1 つをクリックします。
 - ◆ [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果を日付ごとに表示]
 - ◆ [アクション] > [スケジュール済みレポートの結果をタイトルごとに表示]

[グループごとのスケジュール済みレポート] ページが開き、日付またはタイトルでグループ化された保存済みのスケジュール済みカスタムレポートとレポート件数が表示されます。日付またはタイトルをクリックして、レポートの選択や表示ができる [スケジュール済みレポート] ページを開きます。レポートのグループを削除するには、グループを選択して [削除] をクリックします。

10.2.10 新しいレポート定義のインポート

レポートを ZENworks Asset Management 7.5 で定義した場合は、ZENworks コントロールセンターにインポートできます。ZENworks コントロールセンターによってエクスポートされたレポートを再インポートすることもできます。インポートには、事前定義した XML 形式が必要です。

レポート定義をインポートするには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [ソフトウェアの使用のカスタムレポート] パネルで、[アクション] > [新規レポート定義のインポート] の順をクリックします。

カスタムレポート定義のインポート

クエリインポートファイル:

- 3 [クエリインポートファイル] フィールドにファイルを指定するか、または [ブラウズ] をクリックして検索します。
- 4 [インポート] をクリックします。

10.3 レポート権限の設定

ZENworks Asset Management のレポート権限を使用することで、各フォルダとそれに含まれるレポートに対する各管理者の権限を管理できます。各レポートフォルダには、フォルダに関連する権限が設定されており、この権限はフォルダ内すべてのレポートに適用されます。たとえば、全権限を持つユーザは、レポートを編集ができますが、表示 / 実行権限を持つユーザは、レポートの表示および実行のみできます。ZENworks Asset Management のレポート権限を使用して、特定のレポートへのアクセス権や編集権を制限できます。カスタムまたは標準のレポートフォルダタイプ、およびレポート名がフォルダに関連する権限と共に一覧表示されます。次の選択肢があります。

- ◆ **すべての権限の削除** : フォルダに関するすべての権限が削除され、特定の管理者はフォルダを表示できなくなります。
- ◆ **権限の表示 / 実行の割り当て** : 特定の管理者は特定のフォルダ内のレポートを表示および実行できますが、フォルダ内のレポートの編集、移動、または削除はできません。
- ◆ **全権限の割り当て** : レポートを作成、編集、移動、および削除する全権限が特定の管理者に与えられます。標準レポートに関しては、レポートの変更ができませんので、この設定は [表示 / 実行] と同じになります。

インベントリレポート権限を変更するには、次の手順に従います。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックします。
- 2 [管理者] パネルで管理者をクリックします。
- 3 [管理者タスク] パネルで、[アセット管理レポート権限] をクリックします。

アセット管理レポート権限			
編集	フォルダ名	ソース	権限
<input type="checkbox"/>	フォルダタイプ		
<input type="checkbox"/>	カスタムレポート	Software Application Usage	使用状況 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	カスタムレポート	Software Compliance	ライセンス管理 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	カスタムレポート	091	ライセンス管理 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	カスタムレポート	Contract Management	契約管理 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	すべての使用状況	使用状況 全権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	アプリケーション使用状況	使用状況 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	契約管理	契約管理 全権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	ネットワーク外ウェア使用状況	使用状況 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	その他のレポート	ライセンス管理 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	購入数	ライセンス管理 全権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	ソフトウェアコンプライアンス	ライセンス管理 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	ソフトウェアファイル使用状況	使用状況 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	スイート	ライセンス管理 全権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	未調整の製品	ライセンス管理 表示/実行権限
<input type="checkbox"/>	標準レポート	Webアプリケーション使用状況	使用状況 表示/実行権限

- 4 権限を変更するフォルダを選択します。
- 5 次のいずれかをクリックします。
 - ◆ [編集] > [すべての権限を削除]
 - ◆ [編集] > [権限の表示/実行の割り当て]
 - ◆ [編集] > [全権限の割り当て]

変更内容は [権限] カラムに反映されます。

10.4 Web アプリケーションの使用状況の監視

ZENworks Asset Management を使用して、Web アプリケーションの使用状況を監視することもできます。最初に Web アプリケーションを定義する必要があります。これにより、[ソフトウェア使用状況] ページの [Web アプリケーション] フォルダ内のレポートを使用して、使用状況をトラッキングできるようになります。[Web アプリケーション] パネルには次の情報が表示されます。

- ◆ **製造元** : Web アプリケーションの製造元。
- ◆ **アプリケーション** : Web アプリケーションの名前。
- ◆ **バージョン** : Web アプリケーションのバージョン。
- ◆ **最終更新日** : Web アプリケーションの定義が最後に変更された日付。

図 10-1 Web アプリケーションパネル

Webアプリケーション			
詳細	削除		
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	製造元	アプリケーション
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	バージョン	最終更新日時
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ACME	Graphics_1
			3
			08/07/30

詳細は、次の各セクションで説明されています。

- ◆ 116 ページのセクション 10.4.1 「Web アプリケーションの定義」
- ◆ 117 ページのセクション 10.4.2 「Web アプリケーション定義の編集」

10.4.1 Web アプリケーションの定義

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [Asset Management] タブをクリックします。

- 3 [Web アプリケーション] パネルで、[新規] をクリックして、新規 Web アプリケーションの作成ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[アプリケーション名前付け] ページ	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p>製造元: Web アプリケーションの製造元。</p> <p>アプリケーション: アプリケーション名。</p> <p>バージョン: アプリケーションのバージョン。</p>
[アプリケーション認識] ページ	<p>このページを使用して、アプリケーションのウィンドウのタイトルバーのテキストを指定できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [ウィンドウタイトル] フィールドで名前を指定します。 2. [追加] をクリックします。 3. 他の追加値についてもこの手順を繰り返します。値を変更または削除するには、[編集] および [削除] ボタンを使用します。
[サマリ] ページ	<p>データを確認します。指定した値を編集するには、[戻る] ボタンを使用します。</p>

- 4 [完了] をクリックします。

10.4.2 Web アプリケーション定義の編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] タブをクリックします。
- 2 [Asset Management] タブをクリックします。
- 3 [Web アプリケーション] パネルで、編集するアプリケーションの名前をクリックします。

- 4 [詳細] パネルで、117 ページのステップ 3 の表に記載されている情報を使用してフィールドを編集します。
- 5 [OK] または [適用] をクリックします。

管理者定義フィールドの使用

11

管理者定義フィールドを使用すると、契約やライセンス製品にカスタムフィールドを追加できます。詳細情報については、次を参照してください。

- 119 ページのセクション 11.1 「管理者定義フィールドについて」
- 119 ページのセクション 11.2 「管理者定義フィールドの作成」
- 120 ページのセクション 11.3 「管理者定義フィールドの編集」

11.1 管理者定義フィールドについて

管理者定義フィールドを使用すると、カスタムフィールドを追加して、契約やライセンス製品をさらに詳しく定義できます。たとえば、契約の一般情報に「コストセンター」を追加できます。

[管理者定義フィールド] パネルには、フィールドのタイプ ([契約] または [ライセンスされた製品]) と、各カテゴリのカスタムフィールドの数が表示されます。

11.2 管理者定義フィールドの作成

[契約] または [ライセンスされた製品] のどちらの管理者定義フィールドを作成する場合でも、手順は同じです。

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックし、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [管理者定義フィールド] パネルで、[契約] または [ライセンスされた製品] のうち、作成するフィールドのタイプをクリックします。
- 3 [新規] をクリックして、新規管理者定義フィールドの作成ウィザードを開きます。次の表の情報を使用してフィールドに入力し、ウィザードを完了します。

[ウィザード] ページ	詳細
[一般情報] ページ	<p>次のフィールドに入力します。</p> <p>タイプ: 選択したフィールドのタイプに応じてデフォルトで入力されます。</p> <p>名前: 管理者定義フィールドの名前を指定します。このフィールドは必須です。</p> <p>デフォルト値: フィールドのデフォルト値を指定します。</p> <p>データタイプ: [文字]、[整数]、[(10進)]、または [日付] の中から、フィールドで使用できるデータのタイプを選択します。</p> <p>サイズ: フィールドの中で使用できる英数字の最大数を指定します。これは、文字タイプのフィールドのみに適用されます。</p> <p>編集タイプ: フィールドの入力および選択をより柔軟に行うことができます。選択できるオプションは次の3つです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 編集: 値を入力したり、デフォルト値を編集したりできます。 ◆ リスト: 使用可能な選択肢のリストから値を選択できます。 ◆ コンボ: 値を選択するか、またはリストから選択できます。 <p>マスクの編集: [マスクの編集] フィールドリストから選択し、値を入力する方法を制限します。選択できるのは、「電話」、「時間」、および「通貨」です。これは、文字タイプのフィールドのみに適用されます。</p>
[選択リストの値] ページ	<p>このページは、[タイプの編集] として [リスト] または [コンボ] を選択した場合に表示されます。</p> <p>選択肢のリストを作成するには、次の手順に従います。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. [選択リストの値] フィールド内で値を指定します。 2. [追加] をクリックします。他の追加値についてもこの手順を繰り返します。 <p>編集: 値を選択し、[編集] をクリックして値を変更します。</p> <p>削除: 値を選択し、[削除] をクリックして値を削除します。</p> <p>インポート: [インポート] をクリックすると、[選択リストの値のインポート] ダイアログボックスが開き、インポートするファイルを指定できます。</p>
[フィールド概要] ページ	<p>データを確認します。前のページに戻ってフィールドを編集するには、[戻る] ボタンを使用します。</p>

- 4 [終了] をクリックして、新規管理者定義フィールドを作成します。

11.3 管理者定義フィールドの編集

- 1 ZENworks コントロールセンターで、[環境設定] をクリックし、[Asset Management] タブをクリックします。
- 2 [管理者定義フィールド] パネルで、[契約] または [ライセンスされた製品] のうち、編集するフィールドのタイプをクリックします。

[フィールド] パネルに次の情報が表示されます。

名前: フィールドの名前です。

データタイプ: 文字、整数、小数、または日付のいずれかのデータタイプ。

サイズ: 英数字の数。これは、文字タイプのフィールドのみに適用されます。

編集タイプ: ユーザが応答を入力する方法を指定します。値は、*編集*、*リスト*、および *コンボ* です。

デフォルト値: フィールドが作成された際に指定される値。

内部名: フィールドの内部 ID。

- 3 編集するフィールドをクリックします。
- 4 [フィールド詳細] パネルでフィールドを編集します。
各フィールドについては、**119 ページのステップ 3** の表を参照してください。
- 5 [OK] または [適用] をクリックします。

